



NEC

「おかしいな?」と思ったときに、この一冊!
購入時の状態に戻すには、このマニュアルで再セットアップを!
日頃の注意でトラブル予防!

困ったときのQ&A



VALUE#STAR

トラブル解決 4つのポイント

1

落ちついて対処する

あわてて電源を切ったり、マウスを何度もクリックしたりせず、しばらくそのまま待ってください。しばらく待っても動かないときは、強制終了(p.39)を行ってください。

メッセージが表示されているときは書き留める

必ず紙に書き留めてください。また、「元に戻す」「取り消し」などの機能が あったら、その機能を使ってください。



2

原因が何かを考える

操作を間違えなかったか、どんな操作をしたときに問題が起きたのかなど、原因を考えてみましょう。意外に単純な原因であることが多いです。

「スキャンディスク」や「システムの復元」を使ってみる

Windowsやアプリケーションが起動しない、などのトラブルはハードディスクに原因があることが多くあります。このようなときは「スキャンディスク」や「システムの復元」を行ってください。



3

このマニュアルを読む、または「サポートセンタ」の「トラブル解決Q&A」で調べる

このマニュアルの目次を見て、自分のトラブルに当てはまる項目があったら、そのページを読んでください。また、このパソコンの電子マニュアル「サポートセンタ」を調べて解決のヒントがないか探してください。

📖 参照 「サポートセンタ」の使い方 この本のPART1の「サポートセンタを見る」(p.4)『はじめにお読みください』の「電子マニュアルを見る」👉「サポートセンタ」-「サポートセンタについて」

インターネットからトラブル対策を探す

Q&A 情報を提供しているホームページには、次のようなものがあります。

NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」

<http://121ware.com>

最新の情報(サポートセンタ)

サポートセンタにある「最新の情報」から、あなたの製品に関する最新情報入手できます。

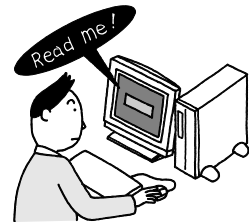
マイクロソフトサポート技術情報

<http://www.microsoft.com/japan/support/>

アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのマニュアルやヘルプなどを読んでから、開発元のホームページを見てみましょう。

「ヘルプとサポート」からトラブル対策を探す

このパソコンにある「ヘルプとサポート」を使えば、さまざまなカテゴリーやキーワードから調べたい項目を探すことができます。



4

巻末の「トラブルチェックシート」に記入する

NECに問い合わせるときは、どんなトラブルが起こったかを巻末の「トラブルチェックシート」に記入しておいてください。その際、「サポートセンタ」の「パソコンの情報」もご覧ください。

問い合わせる

NECの問い合わせ先は『121ware ガイドブック』や「サポートセンタ」をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

解決!

はじめに

この本は、パソコンを使っていて、「おかしいな?!」とか「故障かもしれない」などと感じたときに、問題を解決するための手助けをします。パソコンのトラブルを予防するための説明もあります。

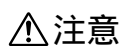
「困ったときのQ&A」はこの本と、「サポートセンタ」(このパソコンの電子マニュアル)の中の「困ったときのQ&A」で構成されています。まず、やりたいことや、あなたのパソコンで起きているトラブルを探し出してください。項目を種類別に分類して、見つけやすいようにしています。そして、問題の予防や原因、解決方法をよく読んで対処してください。

また、パソコンに内蔵されているソフトウェア(全部合わせて「パソコンのシステム」と呼びます)を回復するための方法も、この本で説明しています。困ったときには、この本を活用してください。

2001年5月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。

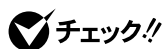


注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



参考になる事柄です。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、
コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

CD-R/RW with
DVD-ROM
ドライブ

CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのことを指します。
CD-R/RWモデルでは、CD-R/RWドライブのことを指します。

 「添付ソフトの
使い方」

「スタート」-「NEC電子マニュアル」-「添付ソフトの使い方」を開き、各ソフトの使い方を参照することを示します。「添付ソフトの使い方」は、「ランチ-NX」から開くこともできます。

 「サポートセンタ」

「サポートセンタ」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートセンタ」は、画面右上の「サポートセンタ」をクリックして起動します。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことで
CRTディスプレイ セットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことで
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことで
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを搭載しているモデルのことで
TVモデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載したモデルのことで
BSモデル	TVモデルのなかでBS デジタルチューナボードを搭載しているモデルのことで。テレビ/地上波データ放送のほかに、BS デジタル放送も楽しむことができます。
Office XPモデル	Office XP Personalがあらかじめインストールされているモデルのことで

型名	型番	表記の区分					
		内蔵CD-R/RWドライブ・ DVD-ROMドライブ	ディスプレイ	キーボード・ マウス	TV機能	LAN	
VC1000J/8FD	PC-VC1000J8FD	CD-R/RW with DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイセット モデル(15型液晶)	ワイヤレス キーボード・ ワイヤレス マウス		LANモデル	
VC800H/8FD1	PC-VC800H8FD1						
VT770/0D	PC-VT7700D		液晶ディスプレイセット モデル(17.5型ワイド液晶)				BSモデル・TVモデル (リモコン添付)
VT750/0D	PC-VT7500D						TVモデル (リモコン添付)
VT700/0D	PC-VT7000D						
VT550/0D	PC-VT5500D		液晶ディスプレイセット モデル(15.3型ワイド液晶)				
VT500/0D	PC-VT5000D						
VT300/0D	PC-VT3000D		CRTディスプレイセット モデル(17型CRT)			USBキーボード ・USBマウス	

本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また実際の画面とは異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal (Microsoft Word、Microsoft Excel、 Microsoft Outlook®、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
MS-IME 2002	Microsoft® IME 2002
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5.5
VirusScan	VirusScan Ver.5.13a

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® Millennium Editionおよび本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows 2000、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその国における登録商標です。

BIGLOBEは、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

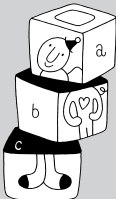
Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

「困ったときのQ&A」は電子マニュアルの「サポートセンタ」にもあります。このマニュアルに載っていない情報もたくさん載っていますのでご覧ください。
「サポートセンタ」については(p.4)を参照してください。
TVモデルをお使いの方は、別冊の『TVモデルガイド』の「PART4 TVモデルQ&A」もあわせてご覧ください。
BSモデルをお使いの方は別冊の『パソコンで楽しむBSデジタル放送』の「PART5 快適にお使いいただくためのQ&A」もあわせてご覧ください。

はじめに i
このマニュアルの表記について ii

PART

1



トラブル解決への第一歩 1

パソコンとトラブル 2

トラブルが起こる理由 2

サポートセンタを見る 4

キーワードで検索する 5

トラブルの予防 6

トラブルが起こる前にやっておくこと 6

システムのバックアップ 7

データとインターネット設定のバックアップ 7

定期的にハードディスクを点検する 10

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ 11

保守サービス(有料)で定期的にメンテナンスを行う 11

リソースを確保する 11

トラブルが起こってしまったら 14

トラブル解決の近道 14

インターネットで解決方法を探す 15

パソコンを再起動する 16

スキャンディスクを使う 16

バックアップしたシステムやデータを復元する 19

セーフモードでWindowsを起動する 21

コントロールパネルの開き方 22

デバイスマネージャを表示する 22

PART

2



トラブル解決 Q&A 23

パソコンが動かない 24

急に動かなくなった 24

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる 24

周辺機器を取り付けて電源を入れたら、パソコンが起動しない 24

パソコンの電源が切れない	25
セーフモードで起動したい	25
パソコンがこわれそう	26
パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、 手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた ...	26
パソコンを使っているとカリカリと変な音がする	26
はじめて電源を入れたら	27
セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	27
ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした).....	27
キーボードがうまく動作しない(ワイヤレスキーボードの場合).....	28
電源を入れたが/切ろうとしたが	30
ディスプレイに何も表示されない	30
電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる	32
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示され、 「Enter a choice:」に「3 (3.Safe mode)」が表示された	34
「スキャンディスク」のウィンドウが表示され、 自動的にスキャンディスクがはじまった	34
「Invalid system disk」と表示される	35
「Please Insert Another Disk.....」と表示される	35
「Operating System not found」と表示される	35
「Non-system disk or disk error」と表示される	37
カーソルが表示されたきり、なにも表示されない	37
このマニュアルや「サポートセンタ」にないエラーメッセージが表示された	37
スキャンディスクの画面が表示された	37
周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった	37
リモコンを使って電源を入れられない(TVモデルのみ)	37
パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない	38
電源が切れない。強制的に電源を切りたい	38
電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった	40
マウス、キーボード	41
マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった	41
キーボードのキーを操作するたびに「ピィ」というブザー音がする (ワイヤレスキーボードの場合).....	41
ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない	41
マウスを動かしても反応しない、反応が悪い	42
キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い	44
CD/DVDプレーヤボタン、ボリュームボタン、 ワンタッチスタートボタンが機能しない	45
マウス、キーボードが正しく動作しない (ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合).....	46

アプリケーション	48
アプリケーションが起動しなくなった	48
パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい	49
アプリケーションが突然止まった(フリーズした)	50
アプリケーションについて問い合わせをしたい	50
「リソースが足りない」という意味のメッセージが表示されて、 アプリケーションが正常に動作しない	50
周辺機器	51
別売の周辺機器に添付されているドライバがフロッピーディスクで 提供されているため、組み込むことができない	51
別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった	51
別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない	53
省電力機能	54
休止状態またはスタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない	54
自動的に休止状態になってしまう	55
自動的に休止状態またはスタンバイ状態にならない	55
休止状態またはスタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の 「電源の管理」で設定しても休止状態またはスタンバイ状態にならない	56
休止状態またはスタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバが プログラムが原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを 終了してからもう一度やり直してください。」と表示された。 あるいは、休止状態またはスタンバイ状態にできない	57
休止状態またはスタンバイ状態にできない。または、省電力を設定しても 自動休止機能または自動スリープ機能が利用できない	57
休止状態からの復帰(再開)に失敗した	57
パスワード	59
パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と 表示される	59
パスワードを忘れてしまった	59
MS-DOSプロンプト	60
MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい	60
MS-DOSプロンプト画面でWindowsのスクリーンセーバーが起動した	60
コンピュータウイルスが発見されたら	61
コンピュータウイルスが検出された	61
その他	63
添付品に足りないものがあつた	63
添付品の接続のしかたがわからない	63
IEEE1394対応機器を接続したが、うまく動作しない	63
このパソコンを廃棄したい	63

やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない	64
CD-ROMなどのディスクが取り出せない	64
フロッピーディスクを使いたい	65
日付と時刻を設定したい	66
データ保護再セットアップモード中にエラーメッセージが表示された	67
このパソコンで使えるOSの種類を知りたい	68
Windows 2000を利用したい	69

PART

3



再セットアップ 71

再セットアップが必要なのは	72
再セットアップが必要なのはこんなときです	72
再セットアップに関する注意	73
再セットアップの種類	73

購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)..... 75

**データを保護して再セットアップする
(データ保護再セットアップモード)..... 86**

**全領域を1パーティションにして再セットアップする
(カスタムモード)..... 91**

Cドライブのみ再セットアップする(カスタムモード)..... 94

**ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする
(カスタムモード)..... 98**

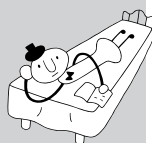
付 録 113

添付品の修復、再入手、交換、補修用性能部品	114
消耗品	114
消耗部品	114
補修用性能部品の最低保有期間	114

譲渡、廃棄、改造について	115
この製品を譲渡するには	115
この製品を廃棄するには	116
このパソコンの改造	116

索 引 117

トラブルチェックシート	119
-------------------	-----

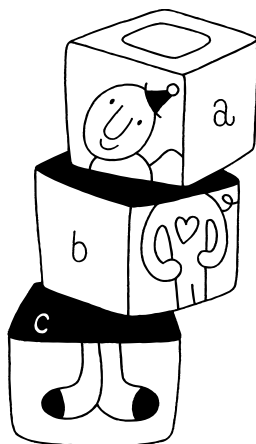


PART

1

トラブル解決への第一歩

万が一のトラブルのときのために、予防と対策が大切です。ここでは、パソコンに起こるトラブルの予防と、起きてしまったトラブルへの対策について説明しています。本格的にパソコンを使い始める前に、一度目を通しておいください。



パソコンとトラブル

パソコンのトラブルには「作ったデータを間違えて消してしまった」というものから、「急にパソコンが動かなくなった」といったようなものまで、さまざまなものがあります。ここではパソコンを使っていて起こりやすいトラブルについて紹介します。

トラブルが起こる理由

トラブルの原因を知ると、予防や解決に役立ちます。

手軽さ、便利さに潜む落とし穴

パソコンでは、文書や画像などを手軽に作ることができます。

しかしその反面、ちょっとした操作ミスですべてのデータが消えてしまうこともあるのです。完全に消してしまったデータは、二度と元に戻すことはできません。

このトラブルの予防には、「バックアップ」が有効です。

また、Windows を再セットアップしたときも、バックアップが取ってあれば、元の状態に近い状態まで復元できます。



パソコンは精密機械

パソコンは便利な道具ですが、たくさんの部品でできた精密機械でもあります。通常の使用なら大丈夫ですが、乱暴に扱ったりすると、故障の原因になります。

特に、次のようなことに注意してください。

参照

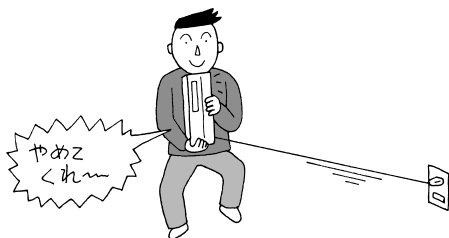
バックアップについて このPARTの「データとインターネット設定のバックアップ」(p.7)、「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19)

ケーブル類を整理し、電源が入っているときに電源プラグを抜かない

特に、足などで引っかけてしまう場所に電源ケーブルがないかどうか確認してください。ケーブルに足が引っかかって電源プラグが抜けたり、パソコンが倒れたりすると、けがや故障、大切なデータ消失の原因になります。

**電源が入っているときに本体を移動しない**

本体の中に入っているハードディスクは、構造上、振動や衝撃に弱いものです。パソコンの電源が入っているときに本体を動かすと、このハードディスクが壊れてしまうことがあります。特に何かに「コツン」とぶつければ一番危険です。

**お子様に注意**

ボタンひとつでディスクトレイが出たり入ったりするのも、子供にとっては楽しいおもちゃです。パソコンどころか、お子さんがケガをしてしまっは大変です。十分注意してあげてください。


**コンピュータウイルスに注意！**

パソコンは、世界中でいろいろな人が使っています。その中には残念ながら、パソコンのプログラムやデータを壊してしまう「コンピュータウイルス」を作って、ばらまいている人たちもいます。インターネットや電子メール、他の人からもらったソフトやデータを通じて、パソコンがコンピュータウイルスに感染してしまうことがあります。

このトラブルを予防するには、知らない人から来た電子メールやそこに添付されてきたファイル、よくわからないファイルは開かないことが大切です。また、このパソコンに入っている「VirusScan」を使って、定期的にウイルスに感染していないかどうかのチェックをするのが有効です。

他にも「停電」や「ブレーカーが落ちる」といった状況にも気をつけてください。

参照

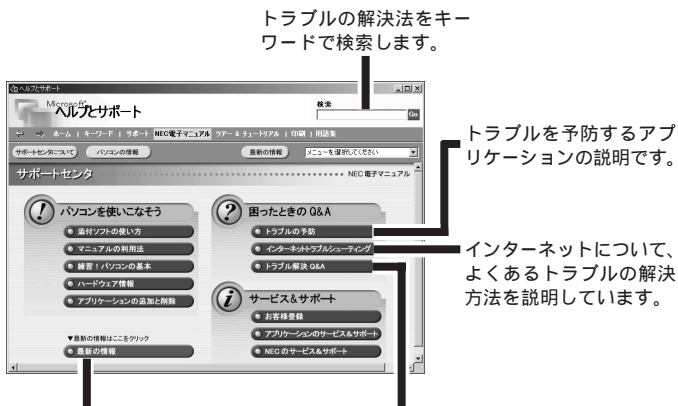
- ・ コンピュータウイルスについて
PART2 の「コンピュータウイルスが発見されたら」(p.61)
- ・ VirusScan について  添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

サポートセンターを見る

このパソコンに入っている電子マニュアル(画面で見るマニュアル)「サポートセンター」にも、トラブルを予防、解決するための「困ったときのQ&A」が入っています。探している項目がこの本で見つからなかった場合は、「サポートセンター」をご覧ください。

「サポートセンター」を起動する

アクティブメニューNX(画面右上)の「サポートセン」をクリックして、「サポートセンター」を起動します。



トラブルの解決法をキーワードで検索します。

トラブルを予防するアプリケーションの説明です。

インターネットについて、よくあるトラブルの解決方法を説明しています。

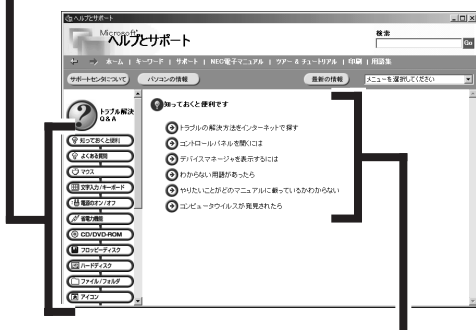
お使いのパソコンの環境に合った、Q&A、アップデートプログラム情報、改訂マニュアル情報をダウンロードできます。

さまざまなトラブルの解決方法を説明しています。

「トラブル解決Q&A」の使い方

「トラブル解決Q&A」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

トラブルの種類をクリックします。



表示されたトラブル例をクリックすると対処法が表示されます。

✓チェック!!

「サポートセンター」の「パソコンの情報」や「最新の情報」では、一部のデバイスを表示しています。ここでは、デバイスが正常に動作しているかどうかは表示されません。デバイスの動作を確認するには、デバイスマネージャをご覧ください。

📖参照

デバイスマネージャについて このPARTの「デバイスマネージャを表示する」(p.22)

「サポートセンター」には次の項目があります。

- 困ったときのQ&A
- トラブルの予防
- トラブル解決Q&A
 - 知っておくと便利
 - よくある質問
 - マウス / リモコン
 - 文字入力 / キーボード
 - 電源のオン / オフ
 - 省電力機能
 - CD / DVD-ROM
 - ハードディスク
 - ファイル / フォルダ
 - アイコン
 - 画面
 - 音
 - インターネット / 通信
 - 電子メール
 - アプリケーション
 - 周辺機器
 - 印刷
 - その他
 - 解決のしかた
 - 追加情報
- インターネットトラブルシューティング

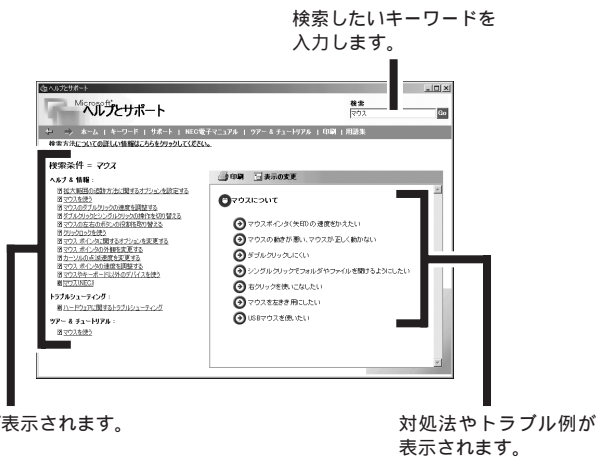
トラブルの種類(左側)をクリックすると、トラブル例が一覧表示されます(右側)。該当するトラブル例をクリックすると、その解決法が表示されます。

トラブルの種類項目を下のほうにスクロールしていくと、**解決のしかた**があります。ここをクリックすると、トラブルが起こったときの対処のしかた、手順について確認できます。

また、項目のいちばん下にある **追加情報** をクリックすると、より詳細な Q&A 情報や最新情報をご覧になれます。

キーワードで検索する

探したい内容をキーワードで検索できます。この機能を使うと、知りたい情報がすばやく見つけられます。例えば、マウスについてのトラブルのときは「マウス」、インターネットについて知りたいときは「インターネット」と入力します。



- 1 「ヘルプとサポート」ウィンドウの「検索」欄をクリックして、キーワードを入力し、「Go」をクリックします。
入力したキーワードに関係した項目が表示されます。
- 2 調べたい項目をクリックします。
トラブルの対処法、またはトラブル例などの一覧が表示されます。
- 3 一覧の中から、調べたい内容をクリックします。
対処法が表示されます。

末尾に(NEC)と書かれた項目をクリックすると、「サポートセンタ」の「困ったときのQ&A」が表示されます。それ以外の項目をクリックすると、Windows Meの「ヘルプとサポート」が表示されます。

トラブルの予防

トラブルに対する準備や、対処法をしっかりとっておけば、トラブルを未然に防いだり、起きてしまったトラブルをスムーズに解決したりできます。

トラブルが起こる前にしておくこと

トラブルを予防するために、事前にしておくことを説明します。これらの操作は、万一の場合に備えて定期的に行うことをおすすめします。パソコンの使い方に合わせて、予防を行うようにしましょう。

日頃の注意が肝心！

データやシステムのバックアップや、ハードディスクのメンテナンスを定期的に行うことで、トラブルを未然に防いだり、万一の場合にもパソコンを正常な状態に戻すことができます。

インターネットや電子メールをするなら、ここに注意！

コンピュータウイルスへの注意が必要です。ウイルスからパソコンを守るための心構えや、感染のチェック方法を身につけましょう。

たくさんのアプリケーションや、動画、静止画をバリバリ使うなら、ここに注意！

複数のアプリケーションや画像をいっぺんに使うと、パソコンの動作がおかしくなることがあります。そんなときは、リソースを確認しましょう。



次のページをご覧ください

- ・「定期的にハードディスクを点検する」(p.10)
- ・「システムのバックアップ」(p.7)
- ・「データとインターネット設定のバックアップ」(p.7)



「コンピュータウイルスの侵入を防ぐ」(p.11)をご覧ください。

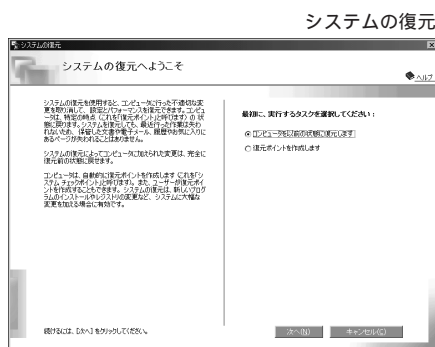


「リソースを確保する」(p.11)をご覧ください。

システムのバックアップ

Windows Meには、あらかじめ正常なWindowsとプログラムを保存しておいて、問題が起きたときに元の状態に復元する機能があります。ご購入時の状態では、パソコンの電源が入っている状態が10時間続くごとに、また、パソコンの電源を24時間以上切っていたとき、次に電源を入れるとシステムの復元ポイントを作成するように設定されています。ただし、自動的に復元ポイントを作成するには、数分間パソコンを操作していない時間が必要です。また、現在の状態を保存しておきたいときは、その場で復元ポイントを作成することもできます。

「システムの復元」を使ってWindowsを元の状態に復元しても、Wordで作った文書や保存したホームページなどの一般的なファイル、および「マイドキュメント」フォルダ内のファイルは変更されません。



用語

システム

パソコンを動かすための基本になるファイルや設定のことを「システム」と呼びます。システムファイルが壊れたり、システムの設定が変更されたりすると、Windowsが不安定になり、起動しなくなるなどのトラブルが起きることがあります。

参照

システムの復元について「添付ソフトの使い方」-「システムの復元」、このPARTの「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19)

データとインターネット設定のバックアップ

ハードディスクに保存されているデータは、絶対安全なものではありません。パソコンにトラブルがあった場合、Windows そのものや添付アプリケーションは、システムの復元(p.19)や再セットアップ(p.71)で復元できます。しかし、一般に自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはこの方法では元に戻すことができません。必要なデータを失わないためには、あらかじめ別の場所にデータのコピーを保存しておくことが大切です。これを「バックアップを取る」と言います。万一の事態に備えて、定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

また、普段はバックアップを取っていない方もWindowsを再セットアップしたり、マニュアルなどにバックアップを取るように説明があるときは、必要なデータのバックアップを必ず取ってください。

チェック!

「データ保護再セットアップモード」で再セットアップした場合は、バックアップ-NXで設定したデータを保護して再セットアップすることができます。

参照

データ保護再セットアップモードについて PART3の「データを保護して再セットアップする(データ保護再セットアップモード)」(p.86)

バックアップが必要なもの

再セットアップを行うと失われるものと購入時の状態に戻せるもの、また、元の状態に戻せるものには、以下のようなものがあります。

	データの一例
バックアップ-NX で設定したとき、データ保護再セットアップを行うと元に戻せるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロの文章 ・入力した伝票のデータ ・送受信したメール ・メールのアドレス帳
再セットアップを行うと失われるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの設定 ・購入後にインストールしたアプリケーション ・BIOS セットアップメニューの設定
再セットアップを行うと購入時の状態に戻せるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Me (OS) ・添付の「アプリケーションCD-ROM」にはいているアプリケーション(ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要) ・ご購入に、このパソコンに最初からインストールされていたアプリケーション

インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合は、再セットアップ完了後に再インストールすると使えるようになります。

バックアップ先について

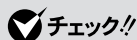
バックアップするにはバックアップ先となるメディア(記憶媒体)が必要です。代表的なバックアップ先としては次のようなものがあります。バックアップ先を考えるときの参考にしてください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・記録のスピードが速い ・追加の機器が必要ない ・容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> ・記録のスピードが速い ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・別売の外付けハードディスクが必要
CD-R や CD-R/RW	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち運びが可能 ・記録のスピードが比較的速い ・容量が大きい(650Mバイトなど) ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・別売のCD-R や CD-RW が必要
フロッピーディスク	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち運びが可能 ・他の媒体に比べて安い ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・容量が小さい(約1.4Mバイト) ・記録のスピードが遅い ・別売のフロッピーディスクが必要 ・外付けのフロッピーディスクドライブが必要



再セットアップについて「PART3 再セットアップ」(p.71)

「バックアップ-NXで設定したとき、データ保護再セットアップを行うと元に戻せるもの」は、標準再セットアップモードやカスタムモードで再セットアップを行うと失われてしまいます。



Dドライブには、購入時はデータが何も入っていません。

バックアップしたデータの保存先には要注意

バックアップしたデータの保存先には注意が必要です。再セットアップすると、内蔵ハードディスクのデータはすべて消えてしまいます(「データ保護再セットアップモード」と「Cドライブのみ再セットアップする」を除く)。内蔵ハードディスクにバックアップしたデータも消えてしまいますので、再セットアップするときは、必ずCD-R/RWや外付けのハードディスクやフロッピーディスク、MO、Zipなどにバックアップを取るようになってください。

再セットアップ方法	バックアップ先
標準再セットアップモード (p.75)	<ul style="list-style-type: none"> ・外付けのハードディスク
全領域を1パーティションにして再セットアップする (p.91)	<ul style="list-style-type: none"> ・外付けのフロッピーディスク ・MO、Zip、CD-R/RW など
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (p.98)	
データ保護再セットアップモード (p.86)	<ul style="list-style-type: none"> ・Dドライブ ・外付けのハードディスク
Cドライブのみを再セットアップする (p.94)	<ul style="list-style-type: none"> ・外付けのフロッピーディスク ・MO、Zip、CD-R/RW など

バックアップの手順

CD-R/RWなどにバックアップを取る

CD-R/RW や外付けハードディスク、フロッピーディスクなど、内蔵ハードディスクとは別の記憶媒体にバックアップを取っておくと安全です。

万一、ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップを取っていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。

内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップを取る


ハードディスクが故障しなくても、誤って重要なシステムファイルを削除したり、このパソコンでは正常に動作しないアプリケーションをインストールしたりすると、Windowsが正常に動作しなくなることがあります。このような場合に、あらかじめ内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップを取っておいて、「データ保護再セットアップモード」または「Cドライブのみ再セットアップする」方法で再セットアップすると、トラブルを解決できます。また、この方法ではバックアップのために別売の機器やメディアを購入する必要がありません。

ただし、ハードディスク自体が故障してしまうと、Dドライブにバックアップしたデータもすべて消えてしまいます。バックアップは、内蔵ハードディスクだけでなく、CD-R/RWなどのメディアにも取るようにしてください。


バックアップしたデータの復元については、「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19)をご覧ください。

アプリケーションのデータをバックアップ

「バックアップ-NX」でバックアップ

「バックアップ-NX」はアプリケーションで作成したデータをバックアップしたり、復元することができます。「バックアップ-NX」の使い方は  「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

自分で検索してバックアップ

「バックアップ-NX」以外にも、Windowsの検索機能を利用してデータのバックアップを取る方法があります。「スタート」ボタン、「検索」 「ファイルやフォルダ」の順にクリックし、表示される「検索結果」ウィンドウでファイルを探し、「ドラッグ & ドロップ」でデータをバックアップ先にコピーします。

バックアップしたデータの復元については、「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19)をご覧ください。

✓チェック!!

これらの記憶媒体にバックアップを取るために、別売の機器の購入が必要な場合があります。


📖参照

- ・データを保護して再セットアップする PART3の「データを保護して再セットアップする(データ保護再セットアップモード)」(p.86)
- ・Cドライブのみ再セットアップする PART3の「Cドライブのみ再セットアップする(カスタムモード)」(p.94)


✓チェック!!

- ・「Cドライブのみ再セットアップする」方法でも、Dドライブのデータを残すことができます(Cドライブのデータはすべて削除されます)。
- ・データ保護再セットアップモード (p.86)を活用するには、バックアップ-NXの設定が必要な場合があります。

📖参照

- ・「バックアップ-NX」の使い方  「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」
- ・データ保護再セットアップについて PART3の「データを保護して再セットアップする(データ保護再セットアップモード)」(p.86)

📌メモ

「Outlook Express 5.5」のメールやアドレス帳のデータをバックアップするには、「バックアップ-NX」を利用してください。「バックアップ-NX」について詳しくは  「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

インターネット接続の設定をバックアップ

インターネットの設定が消えてしまったり、再セットアップをするための、インターネットの設定をバックアップすることをおすすめします。「バックアップ-NX」を使うとインターネット接続の設定情報をバックアップしたり復元したりできます。

バックアップしたデータの復元については、「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19)をご覧ください。

定期的にハードディスクを点検する

パソコンのハードディスクはとても精密なものです。大きなトラブルがないときでも、定期的に検査や整備をするように心がけてください。トラブルを予防するために定期的にハードディスクをチェックすることをおすすめします。


ハードディスクの整備には、ハードディスクのエラーをチェックする「スキャンディスク」、頻繁に使用するプログラムをスピードアップする「デフラグ」、ハードディスクの不要なファイルを削除する「ディスククリーンアップ」などがあります。

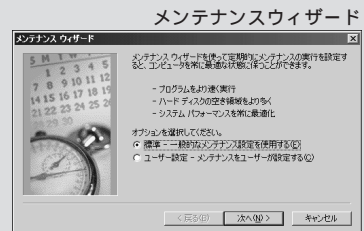
「メンテナンスウィザード」を利用すると、これらのソフトを定期的に行うように設定できます。

✓チェック!!


ダイヤルアップ接続のパスワードはバックアップされません。

📖参照

「バックアップ-NX」の使い方 
「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」



📖参照

スキャンディスク、デフラグ、ディスククリーンアップ、メンテナンスウィザードについて 
「添付ソフトの使い方」-「スキャンディスク」、
「デフラグ」、「ディスククリーンアップ」、
「メンテナンスウィザード」

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

コンピュータウイルスは、インターネットや電子メール、ディスクのやりとりを通じていつの間にかパソコンに侵入して、プログラムやデータを破壊したりします。また、自分のパソコンばかりでなく、電子メールを通じて、勝手に他の人にウイルスを送ったりするものもあります。

コンピュータウイルスの侵入を防ぐには、知らない人から来た電子メール、添付ファイルは絶対に開けないこと、信用できないホームページからのダウンロードは絶対にしないことが重要です。また、このパソコンに入っている「VirusScan」でこまめにチェックをするように心がけてください。

こんな方は特に注意！

たくさんの電子メールをやりとりしたり、インターネットからいろいろなソフトやデータをダウンロードする方は、特にコンピュータウイルスへの注意が必要です。自分のパソコンだけではなく、あなたの友達のパソコンまでウイルスに感染してしまうかもしれません。

保守サービス(有料)で定期的にメンテナンスを行う

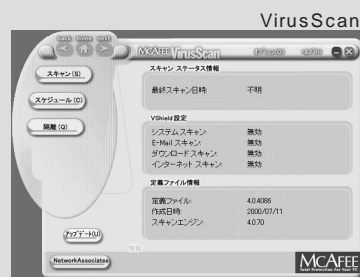
このパソコンを、業務用などに24時間連続で利用したり、信頼性を必要とする設備として利用する場合は、必ず保守契約を行い、定期的にメンテナンスを実施することをおすすめします。ハードディスクなどの消耗部品の交換も依頼出来ます。NECフィールドینگでは、さまざまな保守サービス(有料)を用意しています。ご利用環境に合わせて、保守契約を結んでください。

リソースを確保する

アプリケーションを使うには、システムリソースが必要です。複数のアプリケーションを同時に起動すると、システムリソースが足りなくなって、アプリケーションの動きが遅くなったり、パソコンが動かなくなったりします。


目安としてシステムリソースが40%以下になると、パソコンを使用中にWindowsが不安定となり、リソース不足やメモリ不足を示すメッセージが表示されることがあります。

リソース不足やメモリ不足を示すメッセージが表示されたり、パソコンが動かなくなることが多くなったと感じた場合は、Windows起動直後のシステムリソースの空きを確認してみてください。



参照

コンピュータウイルスについて
PART2の「コンピュータウイルスが発見されたら」(p.61)

VirusScan について  「添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

参照

- ・消耗部品について 付録の「添付品の修復、再入手、交換、補修用性能部品」(p.114)
- ・保守サービス(有料)について 『121wareガイドブック』

用語

システムリソース

Windowsが内部で利用しているデータ領域のこと。この領域は、一定量をWindowsが確保するため、後からハードディスクやメモリを増設しても増やすことはできません。消費されるリソースはアプリケーションごとに違うので、同時起動可能なアプリケーション数は一定ではありません。また、起動したアプリケーションを最小化してタスクバーに入れたままでもリソースは消費され続けますので、空きリソースは増えません。アイコンをタスクバーの中から消すと、リソースが増えます。

リソース不足を防ぐには


普段使わないアプリケーションや常駐ソフトはこまめに終了するようにしましょう。また、ファイルサイズの大きな壁紙を使っているときもパソコンの動きが遅くなることがあります。この場合は、ファイルサイズの小さな壁紙に変更してください。

システムリソースの空きを確認する

- 1 「マイコンピュータ」を右クリックします。
- 2 「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「パフォーマンス」タブをクリックします。
「システムリソース」が表示されます。

起動中のアプリケーション / 常駐プログラムを終了させる

起動中のアプリケーションを終了させる

このパソコンに添付のアプリケーションの終了方法については、添付ソフトの使い方をご覧ください。その他のアプリケーションについては、各アプリケーションの終了方法にしたがって終了させてください。

終了したいアプリケーションが選択できないとき

作業中に「リソースが足りません」というようなメッセージが表示された場合で、終了したいアプリケーションが選択できないときには、次の手順でアプリケーションを終了させてください。

- 1 【Alt】を押したまま【Tab】を押します。
ウィンドウが表示されます。
- 2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】をはなします。
- 3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックします。
メニューが表示されます。
- 4 「閉じる」をクリックします。
これでアプリケーションを終了させることができます。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージを見て操作してください。

チェック!!

システムリソースの空きが10%以下になると、リソース不足やメモリ不足を示すメッセージが表示されずに、パソコンが動かなくなる場合があります。

このような現象が発生した場合、普段あまり使わないアプリケーションや常駐ソフトを終了してください。システムリソースが増え、動作がより安定します。

常駐プログラムを終了させる

アプリケーションの中には、パソコンを起動するたびに、自動的に起動するように設定されているものがあります(これをアプリケーションの常駐といいます)。画面の右下のインジケータ領域(タスクトレイ)に表示されているアプリケーションのうち、常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了させる項目(アプリケーションによって異なりますが「終了」「閉じる」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了させてください。

上記の操作を行っても改善されないとき


上記の操作を行ってもアプリケーションの動きが遅いときや、パソコンが動かなくなってしまう場合には、次のように操作してください。

・アプリケーション終了後、Windows を再起動する

アプリケーションの中には、終了させてもリソースを解放しないものがあります。アプリケーションを終了させてもリソースが解放されない場合は、Windows を再起動してください。

・インジケータ領域(タスクトレイ)の常駐アプリケーションを非常駐にする

常駐の必要がないアプリケーションは、次の手順で常駐を解除できます。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「スタートアップ」の順にクリックし、常駐を解除したいアプリケーションを右クリックします。
- 2 「削除」をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
- 5  をクリックして、表示されたメニューから「再起動」をクリックし、「OK」をクリックします。
パソコンが再起動し、アプリケーションの常駐が解除されます。



再起動について このPARTの「パソコンを再起動する」(p.16)

トラブルが起こってしまったら

パソコンを操作していて、わからないことや困ったことが起きたなどのトラブルが発生したときには、まずここで解決方法や、実際にトラブルが起きたときに役立つ機能を探してみましょう。

トラブル解決の近道

どんなトラブルが起きているのか把握しよう

トラブルが起きてしまったら、あわてずにどんなトラブルが起きているのかを把握しましょう。トラブルの種類がわかれば、解決方法のヒントになります。

トラブルの種類を知るためには、次のような方法があります。

- ・この本の PART1、PART2 でトラブル例を探す
- ・「サポートセンタ」の「困ったときの Q&A」でトラブル例を探す
- ・Windows Me の「ヘルプとサポート」から解決法を探す
- ・問題が起きているアプリケーション、周辺機器のマニュアルやヘルプを見る
- ・インターネットで解決法を探す
- ・パソコンに詳しい人にたずねる など

「おかしいな」と思ったら

パソコンを使っていて、「何かおかしいな」と思ったり、パソコンに起こったトラブルの解決法がわからないときは、サポート窓口にお問い合わせの前に、次の方法を試してみましょう。

- ・再起動をしてみる(p.16)
- ・スキャンディスクをしてみる(p.16)
- ・システムの復元をしてみる(p.19)
- ・セーフモードで起動してみる(p.21)

再セットアップでトラブル解決

いろいろな方法を試してみてもトラブルが解決しないときは、サポート窓口へ問い合わせしてみましょう。それでも解決しないときは、再セットアップ(p.71)で、トラブルを解決することができます。

通常、再セットアップをすると、自分で作ったデータやインストールしたアプリケーション、インターネットの設定などは消えてしまいますが、バックアップをきちんと取っておけば、元の状態に近い状態まで復元できます。



参照

再セットアップについて 「PART3 再セットアップ」(p.71)

また、このパソコンには、突然Windowsが起動しなくなったなどのトラブルによりバックアップがとれないときでも、「バックアップ-NX」で設定したデータを保護して再セットアップする「データ保護再セットアップモード」があります。

インターネットで解決方法を探す

インターネットでも、いろいろなホームページでパソコンのトラブルを解決する方法が紹介されています。


こんなときに役立ちます

- ・トラブルの解決方法が見つからなかったとき
- ・どんなサポートがあるのか知りたいとき
- ・商品情報や、最新のドライバを入手したいとき など

ここでは、Q&Aに関する情報を提供している主なホームページを紹介します。

NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」

121ware.comでは、NECのパソコンや周辺機器、Windows製品を含むソフトウェアについて、サポートを行っています。サポート情報には、Q&A検索、商品別サポート情報、パソコンを使いこなすための情報、よくあるお問い合わせなどが用意されています。また、サポート情報のほかにも、商品情報や最新ドライバのダウンロードサービスなどがあります。

このホームページを見るには、キーボードの【121ware】ボタンを押すか、デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

ホームページアドレス(URL)

<http://121ware.com>

マイクロソフトサポート技術情報

このホームページでは、Microsoft製品のQ&Aや、最新情報を見ることができます。

このホームページを見るには、Internet Explorerの「ヘルプ」をクリックし、「オンラインサポート」をクリックします。

ホームページアドレス(URL)

<http://www.microsoft.com/japan/support/>

参照

データ保護再セットアップモードについて「データを保護して再セットアップする(データ保護再セットアップモード)」(p.86)

参照

インターネットへの接続方法『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART2 本格的にインターネット」

参照

121ware.comについて『121wareガイドブック』

パソコンを再起動する

再起動とは、起動中のWindowsを一度終了して、あらためてWindowsを起動し直すことです。

こんなときに役立ちます


- ・パソコンがフリーズしたとき
- ・パソコンの動作が不安定なとき など

まずは再起動してみよう

パソコンにトラブルが起こったとき、再起動をするだけで解決できることがあります。

トラブルが起きたときは、まず始めに再起動をしてみましょう。また、新しいアプリケーションをインストールしたり、設定を変えたりしたときは再起動が必要な場合があります。

再起動のしかた

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 2  をクリックして、表示されたメニューから「再起動」をクリックし、「OK」をクリックします。
Windowsが再起動します。

「再起動しますか？」と表示された場合

「はい」(または「OK」)をクリックします。Windowsが自動的に再起動します。

スキャンディスクを使う

スキャンディスクは、Windowsやアプリケーションの動作不良や強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復します。また、パソコンが異常終了した直後の再起動時には、自動的にスキャンディスクが実行されハードディスクを修復します。

こんなときに役立ちます

- ・パソコンの動作が不安定なとき
- ・パソコンが異常終了したとき
- ・アプリケーションが正常に動作しないとき など

パソコンがフリーズして、マウスやキーボードの操作ができなくなったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けることで強制的に電源を切ることができます。

チェック!!

強制的に電源を切ると、パソコンに負担がかかります。どうしても電源が切れないとき以外は、この操作を行わないでください。

用語


フリーズ

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなること。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起きます。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。フリーズしたことを、ハングアップした、ストールした、落ちた、固まったなどともいいます。

チェック!!

トラブルを予防するために、定期的にスキャンディスクの実行をおすすめします。また、メンテナンスウィザードを利用すると、スキャンディスクなどのシステムツールを定期的に行うように設定できます。

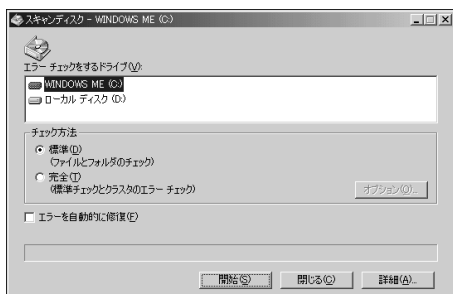
参照

メンテナンスウィザードについてこのPARTの「定期的にハードディスクを点検する」(p.10)  「添付ソフトの使い方」-「メンテナンスウィザード」

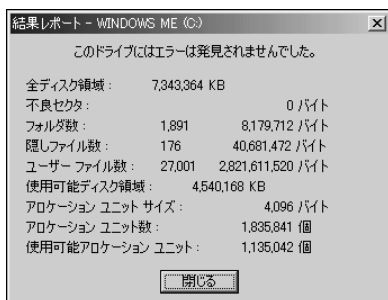
スキャンディスクのしかた

スキャンディスクを実行する前に、起動中のアプリケーションや常駐しているソフトウェアなどを終了させてください。また、スキャンディスクが終了するまで、一切の操作を行わないでください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」の順にクリックします。「スキャンディスク」ウィンドウが表示されます。



- 2 「エラーチェックをするドライブ」から、チェックしたいドライブをクリックします。
- 3 「チェック方法」の「標準」の をクリックして (オン) にします。
- 4 「エラーを自動的に修復」の をクリックして、 (オン) にします。
- 5 「開始」をクリックします。
ハードディスクのチェックが始まります。
ハードディスクのチェックが終わると、「結果レポート」が表示されます。



「結果レポート」の例

- 6 「結果レポート」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。「スキャンディスク」ウィンドウに戻ります。
- 7 「スキャンディスク」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

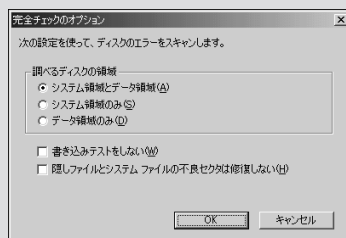
「結果レポート」で重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたらこの場合は、手順3で「チェック方法」の「完全」の をクリックして、 (オン) にし、もう一度スキャンディスクを実行してください。完全チェックには標準チェックより時間がかかることがあります。

参照

スキャンディスクについて 「添付ソフトの使い方」-「スキャンディスク」

メモ

「チェック方法」の「完全」の をクリックして (オン) にし「オプション」ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定を行うことができます。



チェック!!

スキャンディスクを行ってもWindowsが起動しないときや、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップするなどの対応が必要です。

Windows が起動しないとき

Windows が起動しないときは、次の手順でスキャンディスクを実行してください。

「バックアップCD-ROM (起動用) から起動する

- 1 4秒以上電源スイッチを押して、パソコンの電源を切ります。
- 2 5秒以上待ってから電源を入れ、すぐにCD-R/RW with DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM (起動用) をセットします。
CD-R/RW with DVD-ROMドライブからパソコンが起動します。
- 3 「再セットアップについて」の画面が表示されたら、【F3】キーを押します。
「R: ¥ > _」と表示されます。
- 4 キーボードで次のように入力します。
c:【Enter】
cd c:¥windows¥command【Enter】
scandisk c:【Enter】
スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックが始まります。エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、「ファイルに変換する」を選んで修復を実行してください。
「クラスタスキャンを実行しますか？」というメッセージが表示されます。
- 5 【 】キー、【 】キーを使って<いいえ(N)>を選び、【Enter】キーを押します。
- 6 【X】キーを押します。
スキャンディスクの操作が終了します。
ハードディスクから再起動したいときは、「バックアップCD-ROM」(起動用)を取り出してから電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。
スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。詳しくは、「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧ください。再セットアップをしてもトラブルが解決しない場合は、『121wareガイドブック』や、「サポートセンタ」の「NECのサービス&サポート」をご覧ください。各問い合わせ窓口にお問い合わせください。


✓チェック!!

「バックアップCD-ROM」(起動用)から起動しない場合は、バックアップCD-ROMのセットが違いの原因です。CD-ROMを抜かずに4秒以上電源スイッチを押して電源を切り、5秒以上待ってから、CD-ROMがセットされた状態で電源を入れ直します。

✓チェック!!

一般に、再セットアップを行うと購入後に保存したファイルは復元されない場合があります。また、購入後に追加したアプリケーションは復元されません。大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

📖参照

「バックアップ-NX」について 
「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

バックアップしたシステムやデータを復元する

トラブルが起きたときでも、あらかじめシステムやデータのバックアップが取ってあれば、それを復元することでトラブルを解決できることがあります。

システムを復元する

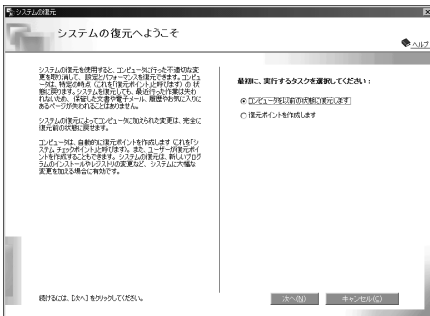
Windowsの動作が不安定になったときは、システムファイルにトラブルが起きていることが考えられます。Windows Meには、あらかじめバックアップを取っておいたシステムファイルを復元して、トラブルを解決する機能が付いています。


こんなときに役立ちます

- ・Windowsが正常に動作しないとき
- ・Windowsが正常に起動しないとき(セーフモードでしか起動できないとき)など

システムの復元のしかた

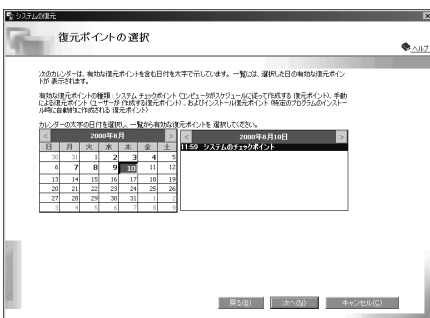
- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」,「アクセサリ」,「システムツール」,「システムの復元」の順にクリックします。「システムの復元」の画面が表示されます。



- 2 「コンピュータを以前の状態に復元します」が  になっていることを確認します。

- 3 「次へ」をクリックします。

「復元ポイントの選択」の画面が表示されます。



✓チェック!!

システムの復元を行うときは、前もって起動中のアプリケーションを終了させてください。

📖参照

システムのバックアップの方法 このPARTの「システムのバックアップ」(p.7)

📌メモ

システムファイルとは、「dll」、「com」、「vxd」、「exe」、「drv」、「ocx」、「inf」などの拡張子が付いたファイルのことです。

- 4 復元ポイントを選択します。
- 5 「次へ」をクリックします。
「復元ポイントの選択の確認」の画面が表示されます。
- 6 内容を確認して「OK」をクリックします。
- 7 「次へ」をクリックします。
コンピュータが選択した日付の状態に復元されます。

データを復元する

アプリケーションで作成したデータなどを間違えて消してしまったときや、Windows を再セットアップしてインターネットの設定が消えてしまったときなども、あらかじめバックアップが取ってあれば復元できます。


こんなときに役立ちます

- ・作成したデータを間違えて消してしまったとき
- ・Windows を再セットアップしたとき

アプリケーションのデータを復元する

バックアップを取っておいたアプリケーションのデータを復元します。

「バックアップ-NX」でバックアップしたアプリケーションのデータを復元する

「バックアップ-NX」でバックアップしたアプリケーションのデータを復元する方法は、「添付ソフトの使い方」をご覧ください。


自分で検索してバックアップしたデータの復元

「自分で検索してバックアップ」でバックアップしたデータは、バックアップ元のフォルダにファイルを移動またはコピーしてください。

インターネット接続の設定を復元する

バックアップを取っておいたインターネットの設定を復元します。

「バックアップ-NX」でバックアップしたデータの復元



「バックアップ-NX」でバックアップしたデータを復元する方法は、「添付ソフトの使い方」をご覧ください。

チェック!!

システムを復元する前に、開いているファイルをすべて保存、または閉じてください。復元が終了するまで、ファイルまたはプログラムを変更したり、開いたり、削除しないでください。


セーフモードでWindowsを起動する

セーフモードはトラブルが発生したときに、最小限のシステム環境で起動できるWindowsの起動モードのひとつです。セーフモードでいったんパソコンを起動し、スキャンディスクなどのシステムツールでトラブルを解決してパソコンを再起動すると、正常なWindowsに戻せることがあります。


- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【Ctrl】キーを押し続けます。「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。
【Ctrl】キーを押し続けても「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されない場合は、パソコンを再起動して、NECのロゴが表示された後すぐに【F8】キーを何回か押してください。
- 3 【】キー、【】キーを使って「3.Safe mode」を選び、【Enter】キーを押します。
「ヘルプとサポート」が起動して、「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されます。
これで、パソコンはセーフモードで起動しました。

トラブルを解決したいときは、さらに、次の手順でスキャンディスクを実行します。

セーフモードでのスキャンディスクの実行

- 1 「スキャンディスクのしかた (p.17)」をご覧になって、スキャンディスクを実行してください。
- 2 スキャンディスクが終了したら、「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 3 をクリックして、表示されたメニューから「再起動」をクリックし、「OK」をクリックします。
パソコンが再起動します。

セーフモードでのシステムの復元の実行

- 1 「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19) をご覧になって、システムの復元を実行してください。
- 2 システムの復元が終了したら、「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックします。
- 3 をクリックして、表示されたメニューから「再起動」をクリックし、「OK」をクリックします。
パソコンが再起動します。

✓チェック!!

- ・セーフモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-R/RW with DVD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。
- ・手順3の「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されずに、Windowsが起動した場合は、Windowsを終了して手順1から行ってください。
- ・セーフモードで起動した後、「スタート」メニューから「Windowsの終了」、「再起動」を選択して「OK」ボタンをクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

✓チェック!!

スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、次のシステムの復元を行ってください。

✓チェック!!

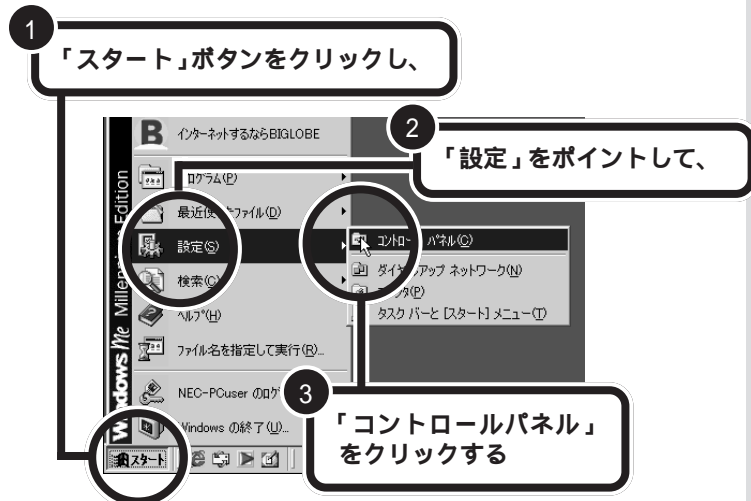
- ・セーフモードでは、復元ポイントの作成はできません。
- ・システムの復元を行ってもトラブルが解決できないときは、再セットアップ(p.71)をおすすめします。

コントロールパネルの開き方

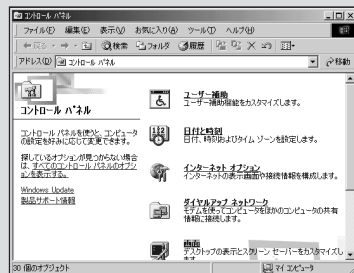
コントロールパネルの画面では、パソコンのいろいろな設定ができます。このマニュアルや他のマニュアルで、コントロールパネルを使うことがよくあります。

ここで、コントロールパネルの開き方を説明します。

コントロールパネルは、次のようにして開きます。



コントロールパネル



(画面は実際の画面と異なることがあります)

コントロールパネルは、「マイコンピュータ」をダブルクリックして、「コントロールパネル」をダブルクリックしても開けます。

設定したい項目のアイコンがコントロールパネルに表示されていないときは、コントロールパネル左側の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてすべてのアイコンを表示してください。

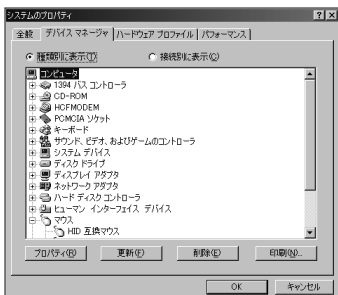
デバイスマネージャを表示する

デバイスマネージャの画面では、パソコンに接続された周辺機器の状態や設定を見られます。パソコンの調子が悪いときに見ると、トラブルの解決に役立つ情報が得られることがあります。

ここで、デバイスマネージャの開き方を説明します。

デバイスマネージャの画面を表示する

- 1 「コントロールパネル」を開きます。
- 2 「システム」をダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
デバイスマネージャの画面が表示されます。



チェック!!

「システム」が表示されていないときは、「コントロールパネル」左側の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

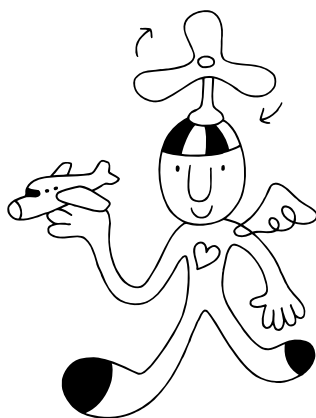
PART

2

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っているなにかトラブルが起きたときは、ここを読んであてはまる項目をさがしてください。

何か疑問があるときも、ここを読んでください。



パソコンが動かない

突然パソコンが動かなくなるなどのトラブルが起きても、いきなり電源プラグや電源ケーブルを抜かないで、落ち着いて対処してください。

急に動かなくなった

Windowsやアプリケーションに何らかの異常が起きていることが考えられます。このPARTの「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.39)以降をご覧ください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、次の手順にしたがってください。

セーフモードで起動する

パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押して、いったん電源を切ってから、「セーフモードでWindowsを起動する」(p.21)をご覧ください。セーフモードでWindowsを起動してください。

セーフモードでWindowsが起動しない場合は、PART1の「Windowsが起動しないとき」(p.18)をご覧ください。「バックアップCD-ROM」(起動用)から起動してください。

周辺機器を取り付けて電源を入れたら、パソコンが起動しない

このPARTの「別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった」(p.51)をご覧ください。

メモ

画面が突然まっくらになったときには、パソコンが休止状態またはスタンバイ状態になったことが考えられます。購入時には、マウスやキーボードを操作しなかったり、ハードディスクなどへのアクセスがない状態が20分以上続くと、自動的に「休止状態」になるように設定されています。休止状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。

参照

省電力について 『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

パソコンの電源が切れない

このPARTの「Windowsを強制終了させて電源を切る方法」
(p.39)をご覧ください。

セーフモードで起動したい

セーフモードは、最小限のシステム環境で起動するWindowsの起動モードのひとつです。トラブルが発生したときは、セーフモードで起動します。セーフモードの起動方法についてはPART1の「セーフモードでWindowsを起動する」(p.21)をご覧ください。

パソコンがこわれそう

パソコンが異常に熱を持ったり、変なにおいがしたり、聞きなれない音がするなど異常と思われることが起きたら、ここをご覧ください。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、ご購入元またはNECにお問い合わせください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態でなにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためであり、問題はありません。

ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはデフラグやディスククリーンアップを実行してください。

それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、ご購入元またはNECにお問い合わせください。

メモ

このパソコンを安全に使うための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。必ず読んで注意事項を守ってください。

参照

- ・電源の切り方 このPARTの「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」(p.38)
- ・NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』、「サポートセンター」-「NECのサービス&サポート」

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照

- ・デフラグ、ディスククリーンアップについて 『添付ソフトの使い方』-「デフラグ」、「ディスククリーンアップ」
- ・NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』、「サポートセンター」-「NECのサービス&サポート」

はじめて電源を入れたら

Windowsのセットアップ中にトラブルが起きたときは、ここをご覧ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

5秒以上待ってから電源を入れ直してください。『はじめにお読みください』を閲覧になり、そのままセットアップを続けてください。電源を入れてもセットアップの画面が表示されないときは、システムが壊れている可能性がありますので、「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧ください。再セットアップしてください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows Meのセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分～十数分間、画面が止まったようになることがあります。画面が止まったように見えてもすぐに電源を切らないでください。

十数分待っても画面の表示が変わらないときや、十数分間ハードディスクアクセスランプが点滅しないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。再起動後、前述の「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で操作してください。

参照

Windowsのセットアップについて『はじめにお読みください』の「電源を入れてパソコンをさせるようにする」

参照

再セットアップについて「PART3 再セットアップ」(p.71)

参照

電源の切り方 このPARTの「強制的に電源を切る方法」(p.40)

キーボードがうまく動作しない(ワイヤレスキーボードの場合)

☹️➡️😊 電池の向きは正しいですか？電池の寿命は切れていませんか？

電池が正しくセットされていないか、電池の寿命が切れていることが考えられます。『はじめにお読みください』の「キーボードとマウスの準備をする」をご覧ください。電池を正しくセットし直してください。正しくセットしても電源が入らないときは、電池を新しいものに交換してください。

☹️➡️😊 キーボードの登録はしましたか？

ワイヤレスキーボードをお使いの場合は初回起動時にキーボード、マウスの登録を行う必要があります。『はじめにお読みください』の「セットアップをはじめる」をご覧ください。キーボード、マウスの登録をしてください。

☹️➡️😊 ディップスイッチの設定は間違っていないですか？

マウス、キーボード、ディスプレイのディップスイッチの設定を変更してください。ディップスイッチの変更方法について詳しくは、このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない」(p.46)をご覧ください。なお、ディップスイッチの設定は、マウス、キーボード、ディスプレイとも、すべて同じ設定にしてください。

📖 参照

ディップスイッチの変更 このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)」(p.46)

☹️ ➡️ 😊 ディスプレイから離れた場所で操作していませんか？

このパソコンにセットの液晶ディスプレイには、無線方式のキーボード、マウスに対応するための受信機が内蔵されています。キーボードやマウスは周囲の環境によっては、周辺からの電波の影響*で通信距離が短くなることもありますので、キーボードやマウスをディスプレイから約30～40cm以内、左右約45度以内に近づけて、操作できるか確認してみてください。

キーボードやマウスが正しく動作しない場合は、ディスプレイの設置場所を変えたり、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

詳しくはこのPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない」(p.46)をご覧ください。なお、ディップスイッチの設定は、マウス、キーボード、ディスプレイとも、すべて同じ設定にしてください。

* 電波の影響の例

- ・ディスプレイがスチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある場合
- ・ディスプレイの前に周辺機器を設置してある場合(ディスプレイ前面の表示ランプ付近に受信用のアンテナが内蔵されており、周辺機器を近づけることにより電波の影響を受けやすくなります)
- ・このパソコンを複数、隣接して使用している場合(隣接したパソコンのキーボード、マウスからの電波の影響)
- ・このパソコンに隣接した場所で電気製品をご使用になる場合(電気機器のノイズによる影響)
- ・このパソコンで使用している周波数帯(27.000MHz、27.075MHz、27.150MHz、27.225MHz)と同じ周波数帯を使用している電気機器(市民無線、漁業無線、アマチュア無線等)を使用している場合(電気機器のノイズによる影響)
- ・コードレス電話や携帯電話などで話中の場合

メモ

通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更したり、また、キーボードをディスプレイに近づけても正しく動作しないときは、キーボードの故障またはディスプレイの電波受信部の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、本体、ディスプレイのすべてをお持込ください。

参照

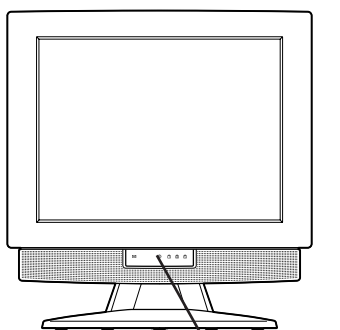
- ・ディップスイッチの変更 このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)」(p.46)
- ・NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』 サポートセンター - 「NECのサービス&サポート」

電源を入れたが / 切ろうとしたが

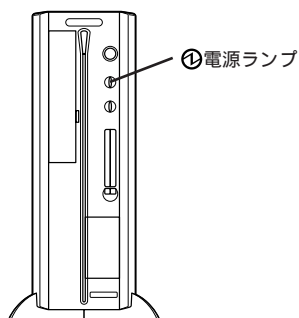
電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したらこちらをご覧ください。

ディスプレイに何も表示されない

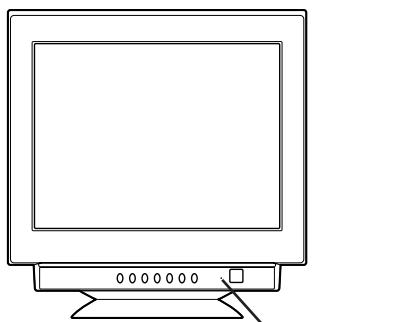
ディスプレイの電源ランプが点灯していないとき



液晶ディスプレイ



本体



CRTディスプレイ

☹️➡️😊 ディスプレイの電源は入っていますか?(CRTディスプレイの場合)

ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』の「電源を入れてパソコンをさせるようにする」をご覧ください。ディスプレイの電源を入れてください。

📖 参照

電源の入れ方 『はじめにお読みください』の「電源の入れ方と切り方」

ディスプレイの形状は、モデルにより異なります。

📌 モ

ディスプレイの電源ランプの色
セットのディスプレイの電源ランプは、緑色に点灯するときと、オレンジ色に点灯する場合があります。

- ・ 緑色に点灯しているとき
ディスプレイとパソコンの電源が入っていて、ディスプレイとパソコン本体が接続されています。
- ・ オレンジ色に点灯しているとき
スタンバイ状態になっています。

🔍 チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、添付のディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しは行わないでください。

📖 参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』、📞「サポートセンター」-「NECのサービス&サポート」

☹️➡️😊 ディスプレイの電源は入っていますか？(17.5型ワイド液晶ディスプレイの場合)

ディスプレイの電源スイッチがONになっていることを確認してください。ディスプレイの電源の入れ方については、『はじめにお読みください』PART5の「17.5型ワイド液晶ディスプレイの電源を入れる」をご覧ください。ディスプレイの電源スイッチがONの状態、パソコン本体の電源を入れてください。

☹️➡️😊 パソコン本体やディスプレイのケーブルなどは正しく接続されていますか？

一度、電源ケーブルをコンセントから抜き、『はじめにお読みください』をご覧になって、もう一度パソコンの各ケーブルを接続し直してください。

パソコンを正しく接続し直して、電源を入れてもディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイまたはパソコン本体の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。

☹️➡️😊 休止状態になっていませんか？

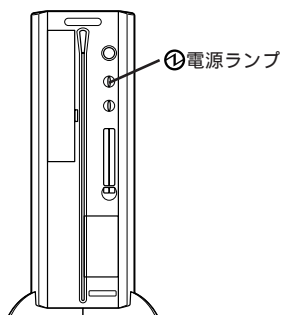
パソコン本体の電源スイッチを押してください。

ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき(CRTディスプレイの場合)

☹️➡️😊 ディスプレイ用ケーブルが本体に正しく接続されていますか？

『はじめにお読みください』の「ディスプレイを接続する」をご覧ください。ディスプレイのケーブルを本体に接続してください。

☹️➡️😊 パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？



メモ

17.5型ワイド液晶ディスプレイは、ディスプレイの電源スイッチをONにしただけでは、ディスプレイの電源ランプは点灯しません。ディスプレイの電源スイッチがONの状態、パソコン本体の電源を入れると、はじめてディスプレイの電源ランプも点灯し、画面が表示されます。

本体の電源が入っていないときや、休止状態のときは、セットの液晶ディスプレイの電源ランプも点灯しません。

チェック!!

別売のディスプレイでは、オレンジ色でない場合もあります。

チェック!!



CRTディスプレイでは、ディスプレイの電源が入っていても、本体の電源が入っていないとディスプレイには何も表示されません。

パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、電源が入っていないか、休止状態になっていることが考えられます。パソコン本体の電源スイッチを押してください。

電源スイッチを押しても本体の電源ランプが点灯しないときは、一度、電源ケーブルをコンセントから抜き、『はじめにお読みください』をご覧ください』をご覧になって、もう一度電源ケーブルを接続し直してください。



電源ケーブルを接続し直して、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。

電源ランプが緑色に点灯しているとき

 ⇒  ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていませんか？

ディスプレイのマニュアルをご覧になって、画面の輝度とコントラストを調節してください。



これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。

 ⇒  パソコン起動後にディスプレイの接続を行っていませんか？

パソコン起動後にディスプレイを接続しても、ディスプレイには何も表示されない場合があります。このような場合は、このPARTの「強制的に電源を切る方法」(p.40)で、パソコン本体の電源をいったん切り、電源スイッチを押してパソコンを起動してください。


電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

電源ランプが消えているとき

 ⇒  パソコン本体の電源スイッチを押してください。画面が表示されますか？

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて休止状態になったと考えられます。このパソコンは、ご購入時には20分間なにも操作しないと本体の省電力機能が働いて休止状態になるように設定されています。

参照

- ・電源ケーブルの接続のしかた『はじめにお読みください』
- ・NECのお問い合わせ先『121wareガイドブック』、 「サポートセンター」-「NECのサービス&サポート」


チェック!!

別売のディスプレイでは緑色でない場合もあります。

メモ

セットのディスプレイでは、コントラストの調整はできません。

参照

NECのお問い合わせ先『121wareガイドブック』、 「サポートセンター」-「NECのサービス&サポート」

参照

自動的に画面がまっくらにならないようにしたいとき『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

チェック!!

電源が入っているとき(スタンバイ状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切ると元の状態に復帰できなくなります。

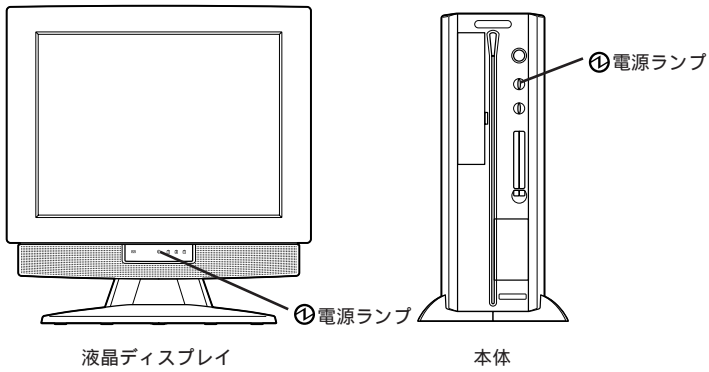
参照

省電力機能について『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

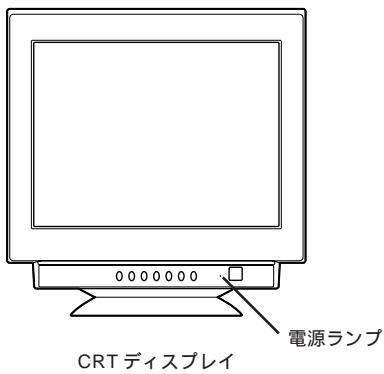
チェック!!

停電のときも、電源ランプは消えています。

電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき

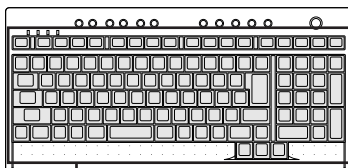


ディスプレイの形状は、モデルにより異なります。



☹️ ➡️ 😊 キーボードのいずれかのキー*を押すか、マウスを操作してください。それでも画面が表示されない場合は、もう一度同じ操作をしてください。画面が表示されますか？

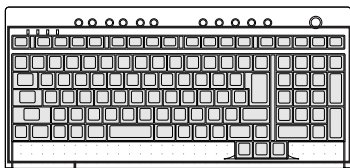
画面が表示されたときは、パソコン本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になったと考えられます。



* この中のいずれかのキーを押す

本体の電源ランプが緑色に点灯、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき

ディスプレイの省電力機能が働いたものと考えられます。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキー*を押してください。



* この中のいずれかのキーを押す

「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示され、「Enter a choice:」に「3」(3.Safe mode)が表示された

「Safe mode」が反転しているのを確認して、【Enter】キーを押し、Windowsをセーフモードで起動します。

セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。

「スタート」メニューの「Windowsの終了」から「再起動」を選択して「OK」をクリックし、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。

セーフモードで起動し、スキャンディスクおよびシステムの復元を実行後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。この場合は、再セットアップをおすすめします。

「スキャンディスク」のウィンドウが表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

ハードディスクに異常がなければ、しばらくするとWindowsが起動します。正常に起動しなかったときは、画面の説明を見て操作してください。画面の説明もなく、システムの復元もできないときや正常に起動しないときは、再セットアップしてください。

参照

- ・システムの復元について
PART1の「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19)
- ・再セットアップについて
「PART3 再セットアップ」(p.71)

メモ

正しく電源を切らなかったときや、電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき、スタンバイ状態のときにコンセントが抜けたり停電したときに、このウィンドウが表示されます。

参照

再セットアップについて 「PART3 再セットアップ」(p.71)

「Invalid system disk」と表示される



外付けのフロッピーディスクユニットにフロッピーディスクがセットされているとき

フロッピーディスクを取り出してから、何かキー(【Enter】キーなど)を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。

外付けのフロッピーディスクユニットにフロッピーディスクがセットされていないとき

ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態です。「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧の上、再セットアップしてください。

「Please Insert Another Disk.....」と表示される

-  ⇒  外付けのフロッピーディスクユニットにフロッピーディスクがセットされていませんか？
- フロッピーディスクを取り出して、パソコンを再起動してください。
- ハードディスクからWindowsが起動します。

「Operating System not found」と表示される

外付けのフロッピーディスクユニットにフロッピーディスクがセットされているとき

このパソコンでは使えないフロッピーディスクがセットされています。

フロッピーディスクをフロッピーディスクユニットから取り出して、再起動してください。

メモ

Windows Me、Windows 98、またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムが入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されていると、このようなメッセージが表示されません。

参照

再セットアップについて「PART3 再セットアップ」(p.71)

外付けのフロッピーディスクユニットにフロッピーディスクがセットされていないとき

次の手順でハードディスクの状態を調べてください。

- 1 パソコンの電源を切ります。
- 2 電源スイッチを入れ、すぐにCD-R/RW with DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM (起動用)」をセットします。
CD-R/RW with DVD-ROMドライブからパソコンが起動します。
- 3 「再セットアップについて」の画面が表示されたら、【F3】キーを押します。
「R:¥>_」と表示されます。
- 4 次のように入力します。
 - ・ハードディスクが8.4Gバイト未満の場合
FDISK /X【Enter】
 - ・ハードディスクが8.4Gバイト以上の場合
FDISK【Enter】

大容量ディスクをサポートするかどうかを選択する画面で、【Y】キーを押して【Enter】キーを押します。「FDISKオプション」の画面が表示されたら、「4【Enter】」と入力して、「4. 領域情報を表示」を選び、次の点を確認してください。

Cドライブの「状態」のところに「A」がついていない

「A」がついていない場合、Cドライブがアクティブでない状態です。「FDISKオプション」の画面で「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。



「領域」の欄の下に何も表示されていないとき、または「システム」の欄の下に「FAT16」、「FAT32」以外のものが表示されているとき

ハードディスクがWindows Meで使える形式でフォーマットされていません。「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧ください。





再セットアップについて 「PART3 再セットアップ」(p.71)

「Non-system disk or disk error」と表示される

-  →  フロッピーディスクが外付けのフロッピーディスクユニットにセットされていませんか？
フロッピーディスクをフロッピーディスクユニットから取り出して、何かキーを押してください。
ハードディスクからWindowsが起動します。

カーソルが表示されたきり、なにも表示されない

-  →  フロッピーディスクが外付けのフロッピーディスクユニットにセットされていませんか？
フロッピーディスクをフロッピーディスクユニットから取り出して、再起動してください。
ハードディスクからWindowsが起動します。

このマニュアルや「サポートセンタ」にないエラーメッセージが表示された

このマニュアルや「サポートセンタ」「トラブル解決Q&A」にないメッセージが表示されたときは、メッセージの内容をメモして、ご購入元またはNECにお問い合わせください。

スキャンディスクの画面が表示された

ハードディスクにトラブルが起こったときや前回の操作で正常終了しなかったときは、「スキャンディスク」が自動的に起動します。スキャンディスクが終了したら画面の説明を見て操作してください。

周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった

このPARTの「別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった」(p.51)をご覧ください。

リモコンを使って電源を入れられない(TVモデルのみ)

CRTディスプレイセットモデルの場合、リモコンを使ってパソコンの電源を入れることはできません。パソコンの電源を入れるときは、パソコン本体の電源スイッチを押してください。

メモ

MS-DOS でフォーマットしたフロッピーディスクをセットしていると、このようなエラーメッセージが表示されます。

参照

NECのお問い合わせ先 『121ware ガイドブック』、「サポートセンタ」-「NECのサービス&サポート」

TVモデルをお使いの場合、リモコンについてやその他のトラブル解決Q&Aについては、『TVモデルガイド』の「PART4 TVモデルQ&A」をご覧ください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない


BIOSセットアップメニューで、パソコンの使用環境を変更して、このような状態になったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

- 1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、購入時の状態に戻します。
- 2 パソコン本体の電源を入れます。
「NEC」のロゴが表示されます。
- 3 【F2】キーを押します。
キーの説明が表示されます。
- 4 【F9】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 5 <はい>が選択されていることを確認して【Enter】キーを押します。
システムの設定が初期値に戻ります。
- 6 【F10】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 7 <はい>が選択されていることを確認して【Enter】キーを押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

CD-ROMがCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットされていたら、取り出してから電源を切ってください。

正しい電源の切り方

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 2  をクリックして、表示されたメニューから「終了」をクリックし、「OK」をクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の操作を行ってください。

チェック!!

「BIOS セットアップメニュー」で設定したパスワードは、初期値に戻りません。

参照

BIOS セットアップメニューについて 『もっと知りたいパソコン』PART14 の「BIOS セットアップメニュー」

チェック!!

【F2】キーを押してもキーの説明が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何回か【F2】キーを押してください。

参照

電源の切り方 『はじめにお読みください』の「電源の入れ方と切り方」

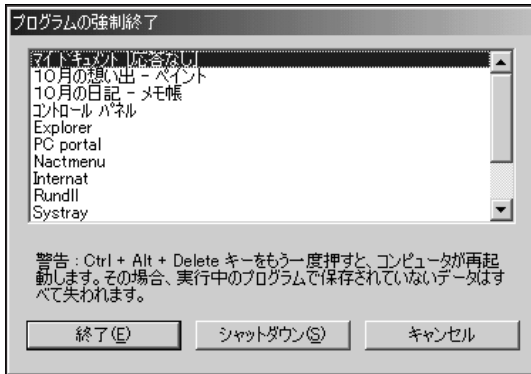
チェック!!

電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

異常が起きているアプリケーションを終了させる方法

- 1 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを1回押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。



- 2 右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」をクリックします。

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、このPARTの「正しい電源の切り方」(p.38)をご覧ください。

この方法でアプリケーションが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作を行ってください。

Windows を強制終了させて電源を切る方法

- 1 「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されていない場合は、【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを1回押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

- 2 「シャットダウン」をクリックします。

しばらくすると自動的にWindowsが終了し、電源が切れます。

この方法でも電源が切れない場合は、次の「強制的に電源を切る方法」(p.40)をご覧ください。


✓チェック!!

- ・【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、2回以上押さないでください。
- ・「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ・アプリケーションで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。


✓チェック!!

- ・【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、2回以上押さないでください。

強制的に電源を切る方法

- 1 パソコンの電源スイッチを4秒以上押しつづけます。
パソコンの電源が切れます。
- 2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押します。
パソコンの電源が入り、場合によっては、スキャンディスクが自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。
スキャンディスクで異常が発見されなかったときや、スキャンディスクが実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。
- 3 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 4  をクリックして、表示されたメニューから「終了」をクリックし、「OK」をクリックします。
パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度4秒以上電源スイッチを押しつづけてください。パソコンの電源ランプがオレンジ色に光っている場合は、いったんパソコンの電源コンセントを抜いてから、電源コンセントを入れ直してみてください。

それでもトラブルが解決しないときは、再セットアップを行ってください。再セットアップをしてもトラブルが解決しない場合は『121wareガイドブック』や  「サポートセンター」の「NECのサービス&サポート」をご覧ください。各問い合わせ窓口にお問い合わせください。

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

パソコンに異常があると、電源を切っても電話回線が切断されない場合があります。その場合は一度、パソコンの電話回線用モジュラーコネクタからモジュラーケーブルを抜いてください。電話回線が切断されます。

パソコンの電源を切ると、ダウンロード中のデータは正常に保存されません。

チェック!!

- ・ ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
- ・ 強制終了を行うと直後の再起動時にスキャンディスクが自動的に起動します。


チェック!!

スキャンディスクの結果、なにかメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、再セットアップが必要になります。「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧ください。再セットアップしてください。

メモ

一般に、再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールしたアプリケーションは復元されない場合があります。また、購入後に追加したアプリケーションは復元されません。大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照

バックアップ-NXについて  「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

チェック!!

電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

マウス、キーボード

マウス、キーボードが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

TVモデルをお使いの場合、リモコンのトラブル解決Q&Aについては、『TVモデルガイド』のPART4 TVモデルQ&Aをご覧ください。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などで拭き取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いたあとで、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元またはNECにお問い合わせください。

キーボードのキーを操作するたびに「ピー」というブザー音がする(ワイヤレスキーボードの場合)

乾電池が消耗しています。新しい電池に交換してください。
『はじめにお読みください』の「キーボードとマウスの準備をする」をご覧ください、電池を正しくセットしてください。

ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない

☹️➡️😊 「スタート」メニューに「VALUESTARを使う準備をします」がありますか？

「スタート」メニューに「VALUESTARを使う準備をします」があると、このパソコンで日本語入力ができる準備が整っていないため、日本語入力できません。「スタート」ボタン「VALUESTARを使う準備をします」をクリックしてください。

📖 参照

マウス、キーボードの設定を変えるには、📍「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」-「マウス」/「文字入力/キーボード」

📖 参照

パソコンのお手入れについて『もっと知りたいパソコン』付録の「パソコンのお手入れ」

🗑️ モ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、マウス、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。

📖 参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』、📍「サポートセンタ」-「NECのサービス&サポート」

マウスを動かしても反応しない、反応が悪い

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？




砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っててください。

☹️➡️😊 電池の向きは正しいですか？電池の寿命は切れていませんか？(ワイヤレスマウスの場合)

電池が正しくセットされていないか、電池の寿命が切れていることが考えられます。『はじめにお読みください』の「キーボードとマウスの準備をする」をご覧ください。電池を正しくセットし直してください。正しくセットしても電源が入らないときは、電池を新しいものに交換してください。

☹️➡️😊 マウスを操作しても、画面の上の矢印が縦や横にまっすぐだけしか動かないとき(ワイヤレスマウスの場合)

電池の寿命が切れていることが考えられます。『はじめにお読みください』の「キーボードとマウスの準備をする」をご覧ください。電池を新しいものに交換してください。

☹️➡️😊 マウスの登録はしましたか？(ワイヤレスマウスの場合)

ワイヤレスマウス、キーボードをお使いの場合は初回起動時にマウス、キーボードの登録を行う必要があります。『はじめにお読みください』の「セットアップをはじめる」をご覧ください。マウス、キーボードの登録をしてください。

☹️➡️😊 ディップスイッチの設定は間違っていないですか？(ワイヤレスマウスの場合)

マウス、キーボード、ディスプレイのディップスイッチの設定を変更してください。ディップスイッチの変更方法について詳しくは、このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない」(p.46)をご覧ください。なお、ディップスイッチの設定は、マウス、キーボード、ディスプレイとも、すべて同じ設定にしてください。

☹️➡️😊 しばらく待っても、マウスの操作ができないとき(ワイヤレスマウスの場合)

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

✓チェック!!

Windows Meセットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

📖参照

電池の寿命について 『はじめにお読みください』の「キーボードとマウスに乾電池を入れる」

🔍メモ

電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更したり、マウスをディスプレイに近づけても、正しく動作しないときは、マウスの故障またはディスプレイの電波受信部の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、本体、ディスプレイのすべてをお持ち込みください。

📖参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』 サポートセンター、「NECのサービス&サポート」

📖参照

ディップスイッチの変更 このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)」(p.46)

📖参照

強制終了の方法 このPARTの「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.39)

☹️ ➡️ 😊 ディスプレイから離れた場所で操作していませんか？(ワイヤレスマウスの場合)

このパソコンにセットの液晶ディスプレイには、無線方式のキーボード、マウスに対応するための受信機が内蔵されています。キーボードやマウスは周囲の環境によっては、周辺からの電波の影響*で通信距離が短くなることもありますので、キーボードやマウスをディスプレイから約30～40cm以内、左右約45度以内に近づけて、操作できるか確認してみてください。

キーボードやマウスが正しく動作しない場合は、ディスプレイの設置場所を変えたり、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

詳しくはこのPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない」(p.46)をご覧ください。なお、ディップスイッチの設定は、マウス、キーボード、ディスプレイとも、すべて同じ設定にしてください。

* 電波の影響の例

- ・ディスプレイがスチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある場合
- ・ディスプレイの前に周辺機器を設置してある場合(ディスプレイ前面の表示ランプ付近に受信用のアンテナが内蔵されており、周辺機器を近づけることにより電波の影響を受けやすくなります)
- ・このパソコンを複数、隣接して使用している場合(隣接したパソコンのキーボード、マウスからの電波の影響)
- ・このパソコンに隣接した場所で電気製品をご使用になる場合(電気機器のノイズによる影響)
- ・このパソコンで使用している周波数帯(27.000MHz、27.075MHz、27.150MHz、27.225MHz)と同じ周波数帯を使用している電気機器(市民無線、漁業無線、アマチュア無線等)を使用している場合(電気機器のノイズによる影響)
- ・コードレス電話や携帯電話などで話中の場合

メモ

通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

参照

ディップスイッチの変更 このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)」(p.46)

キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

☹️➡️😊 電池の向きは正しいですか？電池の寿命は切れていませんか？（ワイヤレスキーボードの場合）

電池が正しくセットされていないか、電池の寿命が切れていることが考えられます。『はじめにお読みください』の「キーボードとマウスの準備をする」をご覧ください。電池を正しくセットし直してください。正しくセットしても電源が入らないときは、電池を新しいものに交換してください。

☹️➡️😊 キーボードの登録はしましたか？（ワイヤレスキーボードの場合）

ワイヤレスキーボード、マウスをお使いの場合は初回起動時にキーボード、マウスの登録を行う必要があります。『はじめにお読みください』の「セットアップをはじめる」をご覧ください。キーボード、マウスの登録をしてください。

☹️➡️😊 ディップスイッチの設定は間違っていないか？（ワイヤレスキーボードの場合）

マウス、キーボード、ディスプレイのディップスイッチの設定を変更してください。ディップスイッチの変更方法について詳しくは、このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない」(p.46)をご覧ください。なお、ディップスイッチの設定は、マウス、キーボード、ディスプレイとも、すべて同じ設定にしてください。

☹️➡️😊 しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

✓チェック!!

Windows Meセットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

メモ




電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更したり、ディスプレイに近づけても、正しく動作しないときは、キーボードの故障またはディスプレイの電波受信部の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、本体、ディスプレイのすべてをお持ち込みください。

📖参照

- ・電池の寿命について 『はじめにお読みください』の「キーボードとマウスに乾電池を入れる」
- ・NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』、👤「サポートセンター」-「NECのサービス&サポート」

📖参照

強制終了の方法 このPARTの「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.39)

   ディスプレイから離れた場所で操作していませんか？(ワイヤレスキーボードの場合)

このパソコンにセットの液晶ディスプレイには、無線方式のキーボード、マウスに対応するための受信機が内蔵されています。キーボードやマウスは周囲の環境によっては、周辺からの電波の影響*で通信距離が短くなることもありますので、キーボードやマウスをディスプレイから約30～40cm以内、左右約45度以内に近づけて、操作できるか確認してみてください。




キーボードやマウスが正しく動作しない場合は、ディスプレイの設置場所を変えたり、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

詳しくはこのPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない」(p.46)をご覧ください。なお、ディップスイッチの設定は、マウス、キーボード、ディスプレイとも、すべて同じ設定にしてください。

* 電波の影響の例

- ・ディスプレイがスチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある場合
- ・ディスプレイの前に周辺機器を設置してある場合(ディスプレイ前面の表示ランプ付近に受信用のアンテナが内蔵されており、周辺機器を近づけることにより電波の影響を受けやすくなります)
- ・このパソコンを複数、隣接して使用している場合(隣接したパソコンのキーボード、マウスからの電波の影響)
- ・このパソコンに隣接した場所で電気製品をご使用になる場合(電気機器のノイズによる影響)
- ・このパソコンで使用している周波数帯(27,000MHz、27,075MHz、27,150MHz、27,225MHz)と同じ周波数帯を使用している電気機器(市民無線、漁業無線、アマチュア無線等)を使用している場合(電気機器のノイズによる影響)
- ・コードレス電話や携帯電話などで話中の場合

CD/DVDプレーヤボタン、ボリュームボタン、ワンタッチスタートボタンが機能しない

   Windowsのセーフモードになっていませんか？

CD/DVDプレーヤボタン、ボリュームボタン、ワンタッチスタートボタンは、Windowsのセーフモードでは機能しません。

通常モードのWindowsで使用してください。

モ

通信距離の短さが気になる場合は、ディップスイッチの設定を変更して、周波数を変えることをおすすめします。

参照

ディップスイッチの変更 このPARTの「マウス、キーボードが正しく動作しない」(p.46)

マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)

電波の混信、妨害が発生しているか、ディスプレイ、マウス、キーボードのディップスイッチの設定が間違っている可能性があります。ディスプレイ、キーボード、マウスのディップスイッチの設定を次のように変更してください。なお、ディップスイッチの設定は、ディスプレイ、キーボード、マウスのすべてを同じ設定にしてください。それぞれ設定が異なると利用できなくなります。

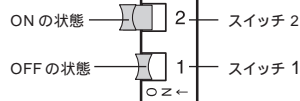
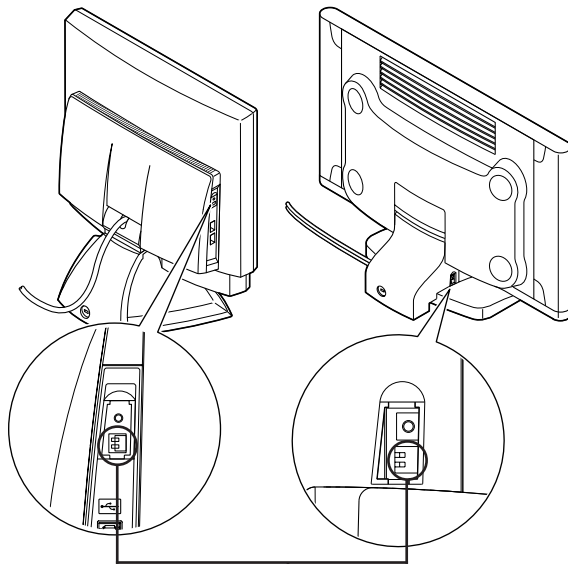
ディスプレイ、キーボード、マウスのディップスイッチの位置は次の通りです。まず、現在の状態を確認してから変更してください。

ディスプレイのディップスイッチ

ディスプレイのディップスイッチは、左側面のカバー内にあります。ディップスイッチの設定を変更するときは、カバーを外してください。

15型液晶/15.3型ワイド液晶の場合

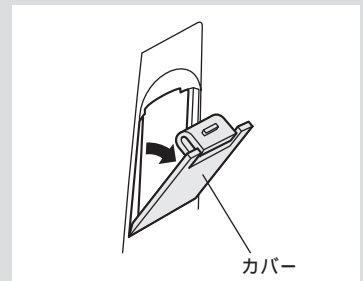
17.5型ワイド液晶の場合



ご購入時はすべてのスイッチがOFFの状態になっています。

✓チェック!!

- ディップスイッチは、ボールペンの先などの細いもので動かしてください。
- 電池を交換したり、ディップスイッチの設定を変更しても、正しく動作しないときは、キーボード、マウスの故障またはディスプレイの電波受信部の故障が考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。修理・交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、ディスプレイ、本体のすべてをお持ち込みください。
- ディスプレイのディップスイッチを変更するときは、左側面のカバーを取り外す必要があります。カバーは上側を外してから取り外します(カバーを外したときは、外したカバーをなくさないように注意してください。また、隙間から異物を入れないように注意してください)。

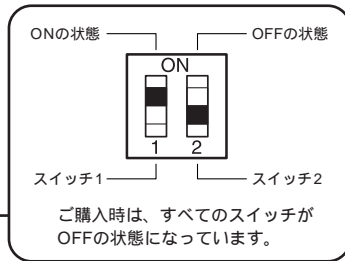


- ディスプレイの形状は、モデルにより異なります。

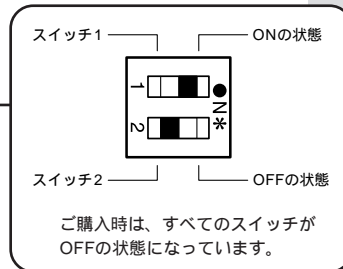
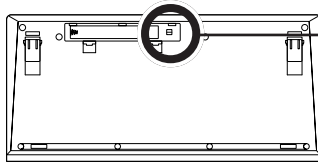
マウス、キーボードのディップスイッチ

マウス、キーボードのディップスイッチは、各底面にある電池カバー内部にあります。ディップスイッチの設定を変更するときは、電池カバーを外してください。

マウス(底面)



キーボード(底面)



スイッチ1とスイッチ2を変更するとチャンネル(使用周波数)を変更できます。

ご購入時の状態で混信、妨害が起こる場合は、まずスイッチ1とスイッチ2を、以下のいずれかに変更(チャンネルを変更)することをおすすめします。ディスプレイとキーボード、マウスのすべてが同じチャンネルになるように変更してください。









チャンネル	スイッチ1	スイッチ2	使用周波数帯
ch1	OFF	OFF	27.000MHz
ch2	ON	OFF	27.075MHz
ch3	OFF	ON	27.150MHz
ch4	ON	ON	27.225MHz

■ : ご購入時の状態

アプリケーション

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときは、
ここをご覧ください。


アプリケーションが起動しなくなった

-  ➡  他のアプリケーションを起動していませんか？
- 複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。すでに他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。
-  ➡  アプリケーションを起動するのに必要なだけのメモリはありますか？
- アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- このパソコンには、ご購入時には128Mバイトのメモリが搭載されています。それ以上のメモリが必要な場合は、メモリを増設してください。
-  ➡  ファイルサイズの大きい壁紙を使っていませんか？
- ファイルサイズの大きい壁紙を使っていると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。壁紙のファイルサイズを確認してファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。
-  ➡  そのアプリケーションは省電力機能(休止状態/スタンバイ)に対応していますか？
- 対応していないアプリケーションで休止状態またはスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、休止状態またはスタンバイ状態にしないでください。
- この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

チェック!!

トラブルを予防するために、メンテナンスウィザードで登録したシステムツールで、定期的にチェックをすることをおすすめします。


参照

メンテナンスウィザードについて
 「添付ソフトの使い方」-「メンテナンスウィザード」、PART1の「定期的にハードディスクを点検する」(p.10)

参照

メモリを増設するには 『もっと知りたいパソコン』の「PART8メモリを増やす」

参照

壁紙を変更するには  「サポートセンタ」-「トラブル解決 Q&A」-「画面」

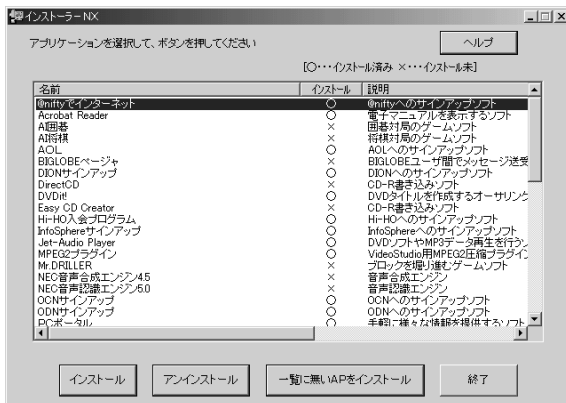
参照

省電力機能について 『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい

インストーラ-NXを使うと、パソコンに添付のアプリケーションを追加したり削除したりできます。
以下の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「NEC電子マニュアル」、「サポートセンタ」の順にクリックします。
「サポートセンタ」が起動します。
- 2 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
アプリケーションの一覧が表示されます。アプリケーションの横に「NX」がついているものは、インストーラ-NXを使って追加したり削除したりできます。
- 3 追加/削除したいアプリケーションをクリックします。
アプリケーションの追加と削除の方法が表示されます。
アプリケーションの追加と削除をする前に、この部分を印刷もしくはメモしておくことをおすすめします。
- 4 「戻る」をクリックします。
アプリケーションの一覧へ戻ります。
- 5 「NX 起動」をクリックします。
「インストーラ-NX」ウィンドウが表示されます。



- 6 追加または削除したいアプリケーション名をクリックします。
- 7 追加したいときは「インストール」、削除したいときは「アンインストール」をクリックします。
これ以降は、手順3で印刷もしくはメモした追加および削除方法にしたがって追加と削除を行ってください。

メモ

「サポートセンタ」はアクティブメニュー-NXの「サポートセンタ」をクリックしても起動できます。

チェック!!

- ・ アプリケーションの追加や削除の前には、「必ずお読みください」をクリックして、アプリケーションの追加と削除に必要な情報をよく読んでおいてください。
- ・ アプリケーションのメニューに削除機能が用意されているものもあります。

メモ

インストーラ-NXは、「スタート」ボタン、「プログラム」、「アプリケーション」、「インストーラ-NX」の順にクリックしても起動できます。

アプリケーションが突然止まった(フリーズした)


アプリケーションを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがあります。パソコンが故障したわけではありません。

この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションだけを強制的に終了させることで、Windowsの操作を続けることができます。このPARTの「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.39)をご覧ください。

特定のアプリケーションや周辺機器を使っているときにフリーズが起こる場合は、各メーカーにお問い合わせください。

また、このトラブルがしばしば起こる場合は、リソースが不足していることや、システムファイルに問題があることが考えられます。リソースの確保、システムの復元などを行ってください。

アプリケーションについて問い合わせをしたい

パソコンに添付のアプリケーションについて問い合わせるときは、「サポートセンタ」の「NECのサービス&サポート」や『ソフトウェア使用条件適用一覧』裏面の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」をご覧ください。また、パソコンご購入後、ご自分で追加された別売のアプリケーションについては、そのアプリケーションの販売元にお問い合わせください。

「リソースが足りない」という意味のメッセージが表示されて、アプリケーションが正常に動作しない

複数のアプリケーションを同時に起動していると、メモリが不足して新たなアプリケーションを起動できなくなることがあります。すでに複数のアプリケーションが起動しているときには、使わないアプリケーションを終了してから新たにアプリケーションを起動してください。それでもアプリケーションが起動しない場合は、パソコンを再起動してください。

チェック!!

「例外エラー」、「一般保護違反」などの画面が表示された場合、強制終了したり、電源スイッチを押したりする前に、メッセージの内容やエラーコードの内容を巻末のトラブルチェックシートにメモをしておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因を調べるのに役立ちます。

参照

- ・リソースを確保する PART1の「リソースを確保する」(p.11)
- ・システムの復元 PART1の「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.19)

参照

- ・リソースについて PART1の「リソースを確保する」(p.11)
- ・再起動する PART1の「パソコンを再起動する」(p.16)

周辺機器

別売の周辺機器をこのパソコンに取り付けたときに、周辺機器が正しく動作しなかったり、パソコンの動作がおかしくなったりしたときはここをご覧ください。

別売の周辺機器に添付されているドライバがフロッピーディスクで提供されているため、組み込むことができない

外付けのUSB対応フロッピーディスクユニットを使うか、ホームページなどからドライバをダウンロードして入手できないか、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。

別売の周辺機器を取り付けたら、パソコンが起動しなくなった

このようなときは、周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動できなくなったと考えられます。

セーフモードでパソコンを起動して、トラブルの原因になったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。

次の手順にしたがって設定してください。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【Ctrl】キーを押し続けます。
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。
【Ctrl】キーを押し続けても「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されない場合は、パソコンを再起動して、NECのロゴが表示された後すぐに【F8】キーを何回か押してください。
- 3 【】キー、【】キーを使って「3.Safe mode」を選び、【Enter】キーを押します。
Windowsがセーフモードで起動します。
- 4 「デバイスマネージャ」ウィンドウ(p.22)を表示して、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

周辺機器によっては、本機にあらかじめドライバが用意されている場合があります。

参考

ドライバのインストール 『もっと知りたいパソコン』PART2の「ドライバなどをインストールする」

5 「全般」タブをクリックして、「すべてのハードウェア プロファイルで使用する」の をクリックして (オフ) にし、新しく取り付けられた周辺機器のドライバを無効にします。

6 「OK」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

7 「閉じる」をクリックします。

8 「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

9 「再起動」を選択して「OK」をクリックします。
パソコンが通常モードで再起動します。

この方法でも起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けられた周辺機器を外してください。

また、新しく取り付けられた周辺機器を使用したいときは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください、ドライバのインストールを再度行ってください。

ただし、ドライバを再インストールした後も、まだ周辺機器の動作にトラブルがある場合は、ドライバを最新のものに更新すると正しく動作することがあります。次の手順でドライバを更新してください。

1 周辺機器の最新のドライバを用意してください。

2 「デバイスマネージャ」ウィンドウ(p.22)を表示し、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
以降は画面の説明を見ながらドライバの更新をしてください。



参照

ドライバのインストール 『もっと知りたいパソコン』PART2 の「ドライバなどをインストールする」



メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Update を行くと最新のドライバをダウンロードして、更新できることがあります。Windows Update をするには「スタート」ボタンをクリックし「Windows Update」をクリックしてください。



別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない

 ➡  電源を入れる順序は正しいですか？



パソコンが起動してから、周辺機器の電源を入れてもパソコン側で正しく認識されません。最初に周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。

 ➡  周辺機器がパソコンに正しく接続されていますか。取り付けした周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器がパソコンと正しく接続されているか、ケーブルやコネクタを確認してください。また、周辺機器の設定が正しいか、確認してください。

 ➡  デバイスマネージャに赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」マークがついていませんか？

取り付けした周辺機器に赤い「×」マークや黄色い「！」マークや緑の「？」マークがついているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。『もっと知りたいパソコン』PART11の「リソースに関する問題」や周辺機器のマニュアル、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」マークがつかないように設定し直してください。

 ➡  ドライバをインストールした後に、パソコンを再起動しましたか？

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、再起動する必要があることがあります。ドライバをインストールした後、パソコンを再起動してください。

チェック!!

USB対応の周辺機器は、パソコンが起動した後から電源を入れても正しく認識されます。

参照

周辺機器について 周辺機器のマニュアル、『もっと知りたいパソコン』

チェック!!

PS/2 互換マウスポートの「！」マークや、「Microsoft 仮想プライベートネットワーク アダプタ」の「×」マーク、USB互換デバイスの「？」マーク（ワイヤレスマウス、キーボードをお使いの場合のみ）は異常ではありません。

参照

リソースの変更 『もっと知りたいパソコン』PART11の「リソースに関する問題」

省電力機能

休止状態やスタンバイ状態から元の状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

休止状態またはスタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない

- ☹️ ➡️ 😊 アプリケーションや周辺機器は省電力機能(休止状態/スタンバイ)に対応していますか？
対応していないアプリケーションや周辺機器で休止状態またはスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、休止状態またはスタンバイ状態にしないでください。
- ☹️ ➡️ 😊 電源ケーブルは正しく接続されていますか？
電源ケーブルをコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持(記憶)されません。
- ☹️ ➡️ 😊 スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？
スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。
- ☹️ ➡️ 😊 スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？
スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

📖 参照

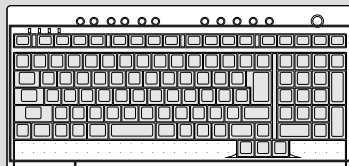
省電力機能について『はじめにお読みください』の「一時的に作業を中断する(省電力機能)」、『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

👉 チェック!!

スタンバイ状態で画面が暗くなったまま、もとに戻らないときは、電源スイッチを4秒以上押し続け、強制的に電源を切ってください。

🗒️メモ

休止状態から元の状態に戻すには、本体の電源スイッチを押してください。また、キーボードの電源スイッチ(ワイヤレスキーボードのみ)やリモコンの電源スイッチ(液晶ディスプレイセットモデルでリモコンが添付されている場合のみ)を押しても、休止状態から元の状態に戻せません。スタンバイ状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキー*を押すか、マウスを動かしてください。それでも画面が表示されない場合は、もう一度同じ操作をしてください。



* この中のいずれかのキーを押す

また、液晶ディスプレイセットモデルでリモコンが添付されている場合は、リモコンのスティックを操作してもスタンバイ状態から元の状態に戻せません。なお、CRTディスプレイセットモデルの場合は、リモコンを操作しても、元の状態には戻りません。上記のキーボード、マウスを使った方法で戻してください。

休止状態またはスタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、休止状態またはスタンバイ状態にする前の内容は保証されません。

- ・ 休止状態またはスタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
- ・ 休止状態またはスタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- ・ 休止状態またはスタンバイ状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で休止状態またはスタンバイ状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- ・ プリンタへ出力中のとき
- ・ モデムなどを使って通信中のとき
- ・ サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・ ハードディスクを読み書き中のとき
- ・ CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・ 休止状態またはスタンバイ状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

自動的に休止状態になってしまう

このパソコンはご購入時には、20分間なにも操作しないと本体の省電力機能が働いて休止状態になるように設定されています。休止状態にならないようにするには、「コントロールパネル」(p.22)の「電源の管理」で設定を変更します。



自動的に休止状態またはスタンバイ状態にならない

プリンタなど双方向通信を行う周辺機器を使用している場合は自動的に休止状態またはスタンバイ状態にはできません。使用中の周辺機器の動作を中止するか、周辺機器の電源を切ってください。



参照

パソコンが自動的に休止状態にならないようにするには 『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力の設定を変える」



休止状態またはスタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の「電源の管理」で設定しても休止状態またはスタンバイ状態にならない

 ➡  アプリケーションや周辺機器は、休止状態またはスタンバイ状態に対応していますか？

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、休止状態またはスタンバイ状態にしないでください。


 ➡  実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をし直してください。



通信中、休止状態またはスタンバイ状態にできないアプリケーションがあります。電話回線を使用中のときは、回線を切ってから休止状態またはスタンバイ状態にしてください。

 ➡  スタンバイ状態から復帰中に、電源スイッチを押しませんでしたか？

スタンバイ状態から復帰中に電源スイッチを押すと、再度スタンバイ状態にしようとしてもスタンバイ状態にできなくなる場合があります。このような場合には、次の手順でパソコンを再起動してください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

2  をクリックして、表示されたメニューから「再起動」をクリックし、「OK」をクリックします。

 ➡  SCSIインターフェイスを使って周辺機器を接続していませんか？

SCSIインターフェイスを使って機器を接続した場合は、休止状態にできません。また、パソコンが自動的に休止状態にならないように設定を変更してください。

メモ



休止状態にするには「Windowsの終了」ウィンドウで「休止状態」を選択して「OK」をクリックします。

スタンバイ状態にするには「Windowsの終了」ウィンドウで「スタンバイ」を選択して「OK」をクリックします。

参照



パソコンが自動的に休止状態にならないようにするには『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力の設定を変える」

休止状態またはスタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してからもう一度やり直してください。」と表示された。あるいは、休止状態またはスタンバイ状態にできない



 ➔  実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をし直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってから休止状態またはスタンバイ状態にしてください。

休止状態またはスタンバイ状態にできない。または、省電力を設定しても自動休止機能または自動スリープ機能が利用できない

 ➔  実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってから休止状態またはスタンバイ状態にしてください。

 ➔  アプリケーションや周辺機器は、休止状態またはスタンバイ状態に対応していますか？

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、休止状態またはスタンバイ状態にしないでください。

休止状態からの復帰(再開)に失敗した

Windows が起動するとき

「ヘルプとサポート」の、「トラブルシューティング」の「ハードウェアとシステムデバイスに関する問題」の「システムデバイスと電源の管理に関するトラブルシューティング」をご覧ください。

チェック!!

SCSI インターフェイスを使って周辺機器を接続した場合は、パソコンを休止状態にできません。また、SCSI インターフェイス対応機器をご利用になる場合は、パソコンが自動的に休止状態にならないように設定を変更してください。

参照

パソコンが自動的に休止状態にならないようにするには 『もっと知りたいパソコン』PART 12 の「省電力の設定を変える」

チェック!!

休止状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windows が起動しても休止状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、休止状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

Windows が起動しないとき



休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続を元の状態に戻して電源スイッチを押してください。

パソコンの電源は入るが、Windows が起動しないとき

休止状態のときにこのパソコンの設定を変更したり、周辺機器の接続などを変更すると、Windowsが起動しなくなることがあります。このような場合は、設定や周辺機器の接続などを元の状態に戻してから電源スイッチを操作してください。

また、電源を入れたときに「Previous resume from hibernate failed.Would you like to try again [Enter=Y,Esc=N]?」というメッセージが表示された場合は、[N]を押すとWindowsを起動できます。

この手順でもWindowsが起動しない場合には、次の手順でハイバネートファイルを削除してください。

- 1 4秒以上電源スイッチを押して、パソコンの電源を切ります。
- 2 5秒以上待ってから電源を入れ、すぐにCD-R/RW with DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM (起動用)」をセットします。
CD-R/RW with DVD-ROMドライブからパソコンが起動します。
- 3 「再セットアップについて」の画面が表示されたら、【F3】キーを押します。
- 4 コマンドプロンプト(A:¥>_)が表示されたら、キーボードから次のように入力します。
c:【Enter】
cd windows【Enter】
attrib -r -a -s -h vmmhiber.w9x【Enter】
del vmmhiber.w9x【Enter】
- 5 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM (起動用)」を取り出します。
- 6 パソコンを再起動します。

この方法でもWindowsが起動しないときは、「PART3 再セットアップ (p.71)」をご覧ください。

✓チェック!!

この操作を行って、Windowsが正常に起動しても休止状態にする前の状態は復元されません。保存されていないデータは失われてしまいますので、休止状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。


✓チェック!!

「バックアップCD-ROM」(起動用)から起動しない場合は、バックアップCD-ROMのセットが遅いのが原因です。CD-ROMを抜かずに4秒以上電源スイッチを押して電源を切り、5秒以上待ってから、CD-ROMがセットされた状態で電源を入れ直します。

パスワード

パスワードを入力してもネットワークに接続できない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

☹️➡️😊  (キャップスロックキーランプ) が点灯していませんか？
キャップスロックキーランプは、ワイヤレスキーボードをお使いの場合はディスプレイに、USBキーボードをお使いの場合はキーボード左上についています。キャップスロックキーランプが点灯しているときは英字の入力が大文字入力になります。【Shift】キーを押しながら、【Caps Lock】キーを押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力し直してください。

パスワードを忘れてしまった

Windows のパスワードを忘れてしまったとき

Windowsのパスワードを入力するウィンドウで【Esc】キーを押すと、Windowsが起動してパソコンを使えるようになります。ただし、ネットワークには接続できません。パスワードを再設定したいときは、再セットアップしてください。

ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードを忘れてしまった

『もっと知りたいパソコン』PART14の「BIOSセットアップメニュー」をご覧ください。パスワードの設定を解除して設定し直してください。

メモ

Windows のパスワードは、ネットワークの設定などをするときに、設定します。

参照

再セットアップについて 「PART3 再セットアップ」(p.71)

参照

ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードの解除、設定 『もっと知りたいパソコン』PART14の「BIOSセットアップメニュー」

MS-DOS プロンプト

MS-DOSプロンプトを使っていてトラブルが起きたときは、ここをご覧ください。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい

【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押してください。

MS-DOSプロンプト画面でWindowsのスクリーンセーバーが起動した

次の手順で設定を変更すると、スクリーンセーバーが動作しないようになります。

- 1** MS-DOSプロンプトの画面がフルスクリーン表示のときは、【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押します。
MS-DOSプロンプトの画面がフルスクリーン表示からウィンドウ表示に切り替わります。
- 2** 【Alt】キーを押しながら【スペース】キーを押します。
MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。
- 3** メニューから「プロパティ」を選択します。
「MS-DOSプロンプトのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4** 「その他」タブをクリックします。
- 5** 「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使う」のチェックを外します。
- 6** 「OK」をクリックします。
- 7** 【Alt】キーを押しながら【Enter】を押します。

MS-DOSプロンプトの画面がウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

コンピュータウイルスが発見されたら

VirusScanなどのウイルス駆除ツールを使ってコンピュータウイルスを発見した場合は、ここをご覧ください。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するのがいちばん確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してインストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除したあと、コピーし直してください。バックアップも感染している可能性があるので、ウイルス検査をしてください。

削除できないファイルの場合は、「VirusScan」などのウイルス除去機能があるアプリケーションでそのファイルのウイルスを削除してください。

さらに、二次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッピーディスク、MOディスクなどはすべてウイルス検査してください。

ウイルスでパソコンが正常に動作しなくなったときコンピュータウイルスが原因で、パソコンがうまく起動しなかったり、起動しても動作がおかしい場合は、「コマンドライン版VirusScan」を利用してウイルスをチェックします。

「コマンドライン版 VirusScan」の利用方法

- 1 電源を入れ、すぐにCD-R/RW with DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM (起動用)」をセットします。CD-R/RW with DVD-ROMドライブからパソコンが起動します。
- 2 「再セットアップについて」の画面が表示されたら、【F3】キーを押します。
「R:¥>_」と表示されます。



VirusScan について 「添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

✓チェック!!

ウイルスデータが古くなったことを警告するメッセージが表示されることがあります。「コマンドライン版 VirusScan」には2001年3月現在のウイルスデータが入っています。そのため、新しく出現したウイルスは検出できません。

✓チェック!!

「バックアップCD-ROM」(起動用)のセットが遅くて、CD-R/RW with DVD-ROMドライブから起動しなかった場合は、「バックアップCD-ROM (起動用)」をセットしたままパソコンを再起動してください。

3 次のように入力します。

```
q:[Enter]
cd scan[Enter]
scan c: /all/clean[Enter]
```

Cドライブのウイルスの検査が始まり、ウイルスが駆除されます。

VirusScanのエマージェンシーディスクを利用するときの注意

VirusScanのエマージェンシーディスクでのウイルスの検索が途中でしが行われない場合は、次の手順に従って、もう一度ウイルスの検索を行ってください。

- 1 Windowsを終了します。
- 2 エマージェンシーディスク#1をフロッピーディスクドライブに挿入し、パソコンを起動します。
- 3 「エマージェンシーディスク 2に差し替えて、キーボードからEdWiz16と入力し、リターンキーを押してください。」と表示されたら、VirusScanをインストールしたフォルダから「scan.exe /ADL /ALL /CLEAN」を実行します。
例)インストール時にインストール先を変更していない場合は、下記のコマンドを入力し、【Enter】を押してください。
C:¥Progra 1¥common 1¥networ 1¥viruss 1¥40 1.
xx¥Scan.exe/ADL /ALL /CLEAN
- 4 スキャンが終了したら、パソコンの電源を切ります。

被害を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、次の届け出先に届けることが義務づけられています(1997年9月24日付通商産業省告示第535号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してください。

届け出先

情報処理振興事業協会(通称 IPA)セキュリティセンター
ウイルス対策室

本部 : 〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート センターオフィス16階

IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 : 03-5978-7509

FAX : 03-5978-7518

ホームページアドレス : <http://www.ipa.go.jp/>

☑️チェック!!

すべてのドライブを検査し、ウイルスを駆除する場合は、次のように入力してください。

```
scan/adl/all/clean【Enter】
```

☑️チェック!!

エマージェンシーディスクウィザードで作成したエマージェンシーディスク #2 は使用しません。

☑️チェック!!

- ・本機にインストールされているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。常に最新のウイルスに対応するためには、ウイルス定義ファイル(DAT)とスキャンエンジン(ウイルス検出エンジン)の更新が必要です。
なお、スキャンエンジンの更新にはユーザ登録が必要です。詳しくは、「スタート」-「プログラム」-「McAfee ウイルススキャン」 「ウイルススキャン ユーザー登録」をご覧ください。
- ・インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)では、「VirusScan センtral」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードできます。
- ・DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合はVirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートセンタ」や他のマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

添付品に足りないものがあった

☹️➡️😊 まず、『箱の中身を確認してください』をご覧になり、すべての添付品がそろっているか確認してください。

VALUESTAR Gシリーズをご購入の場合、機種によっては『箱の中身を確認してください』に記載の内容と添付品が一部異なることがあります。『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』も合わせて確認してください。

☹️➡️😊 いくつかの添付品がひとつにまとめて包装されていることがあります。添付品を包んでいるビニール袋などをすべて開けて確認してください。

それでも添付品が足りないときは、ご購入元またはNECにお問い合わせください。



参照

NEC のお問い合わせ先 『121ware ガイドブック』、『サポートセンタ』-「NEC のサービス&サポート」

添付品の接続のしかたがわからない

『はじめにお読みください』をご覧になり、接続を行ってください。

IEEE 1394 対応機器を接続したが、うまく動作しない

IEEE 1394 対応機器がこのパソコンに対応しているか確認してください。

このパソコンを廃棄したい

このパソコンの所有者が事業者の場合には、このパソコンを廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。なお、このパソコンの所有者が個人の場合には、マニフェストの発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。

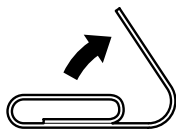
やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない

このパソコンに添付しているマニュアルの中で、やりたいことを探したいときは、サポートセンタの「マニュアルの利用法」で探してください。

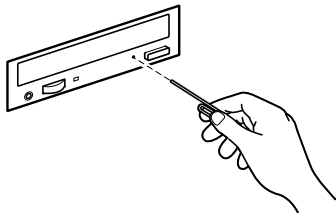
CD-ROMなどのディスクが取り出せない

停電やアプリケーションの異常な動作などにより、CD-R/RW with DVD-ROMドライブからCD-ROMなどのディスクを取り出せなくなった場合は、次の手順で強制的に取り出してください。

- 1 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度（指でつまむ部分を除く）の針金を用意します。大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

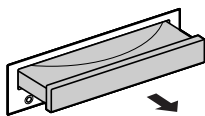


- 2 パソコン本体の電源を切ります。
- 3 ルーフカバーを外してパソコン本体を横に倒します。
- 4 ディスクトレイの直径2mm程度の穴に、手順1で作った針金を差し込み、強く押し込みます。



ディスクトレイが15mmほど飛び出します。

- 5 ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出します。



メモ

ディスクトレイは、パソコンの電源が切れているときは、通常の方法では出し入れできません。

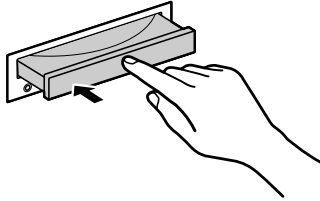
チェック!!

CD-R/RW with DVD-ROMドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。イジェクトボタンを押してもカバーが開かないときは、必ずこの手順でCD-ROMを取り出してください。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れる場合があります。

参照

ルーフカバーを外す 『もっと知りたいパソコン』PART2の「ルーフカバーの外し方」

- 6** ディスクトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないように注意しながら、ディスクトレイがもとどおりに収納されるまで押し込みます。



- 7** パソコン本体のルーフカバーを取り付けます。

フロッピーディスクを使いたい

外付けのフロッピーディスクユニットをお使いください。

📖 参照

ルーフカバーを取り付ける 『もっと知りたいパソコン』PART2の「ルーフカバーの取り付け方」

日付と時刻を設定したい

日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間がずれたり、インターネットで送信したメールの日付がおかしくなったりします。次の手順で設定してください。

- 1 コントロールパネルを開き、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 正しい日付と日時を設定します。

ここをクリックして、月を合わせます。

ここをクリックして、西暦を合わせます。

反転している数字が現在設定されている日付です。設定したい日をクリックします。



時 / 分 / 秒が表示されている部分をクリックすると、このボタンで時刻が設定できるようになります。

- 3 設定が終了したら「OK」をクリックします。

再設定しても日付と時刻がおかしくなるときは、内蔵の電池が消耗していることが考えられます。ご購入元またはNECにお問い合わせください。

参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』、『サポートセンター』
「NECのサービス&サポート」

データ保護再セットアップモード中にエラーメッセージが表示された

「Cドライブに十分な空き容量が無いため、データ保護再セットアップが完了していません。」と表示されたとき

このメッセージが表示されたときは、次の手順で操作してください。

- 1 Windowsを起動します。
「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されます。
- 2 Windowsを設定します。
「Windows Meの設定をする (p.80)」をご覧になって、Windowsの設定をしてください。
- 3 バックアップ-NXを使って、データをDドライブにバックアップします。
- 4 「Cドライブのみ再セットアップ」を行います。
「Cドライブのみ再セットアップする(カスタムモード)」(p.94)をご覧になって、再セットアップをし直してください。

「保護するデータを設定したファイルが無いが、無効なため、データ保護再セットアップモードができません。」と表示されたとき

このメッセージが表示されたときは、Windowsが起動できる場合は、バックアップ-NXでCドライブ以外にデータをバックアップし、Cドライブのみ再セットアップする方法で再セットアップを行ってください。

Windowsが起動できない場合は、データを保護することはできません。標準再セットアップモード、またはカスタムモードで再セットアップを行ってください。


「Cドライブに十分な空き容量が無いため、データ保護再セットアップができません。」と表示されたとき

このメッセージが表示されたときは、データを保護することはできません。標準再セットアップモード、またはカスタムモードで再セットアップを行ってください。


参照

データ保護再セットアップモードについて PART3 の「データを保護して再セットアップする(データ保護再セットアップモード)」(p.86)

参照

「バックアップ-NX」の使い方 
「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

参照

「バックアップ-NX」の使い方 
「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

このパソコンでは、次のOSが使えます。

- ・ このパソコンにあらかじめインストールされているWindows Millennium Edition(市販のWindows Millennium Editionは、利用できません)
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional

Windows 2000を使う場合は、アプリケーションCD-ROM Vol.2にある次のファイルに書かれている説明をご覧ください。

E:¥WIN2K¥Readme.txt

なお、標準搭載デバイスや増設機器、周辺機器、インストールアプリケーションがWindows 2000ではご利用できない場合があります。それらの情報は、121ware.com(<http://121ware.com>)で、順次ご提供します。なお、弊社製以外の製品については、各メーカーにお問い合わせください。

このパソコンにインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアはWindows 2000では利用できません。

Microsoft® Windows® 2000 Server、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Serverは利用できません。

Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows NTをお使いになることはできません。

Windows 2000を利用したい

このパソコンでは、別売の「Microsoft® Windows® 2000 Professional」を利用することができます。Windows 2000を利用する場合は、アプリケーションCD-ROM Vol.2にある次のファイルに書かれている説明をご覧ください。

E:¥WIN2K¥Readme.txt

なお、標準搭載デバイスや増設機器、周辺機器、インストールアプリケーションがWindows 2000ではご利用できない場合があります。それらの情報は、121ware.com(<http://121ware.com>)で、順次ご提供します。なお、弊社製以外の製品については、各メーカーにお問い合わせください。このパソコンにインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアはWindows 2000では利用できません。

Microsoft® Windows® 2000 Server、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Serverは利用できません。

チェック!!

Windows 2000 を利用する場合は、お使いのアプリケーションや周辺機器がWindows 2000に対応しているかどうか、あらかじめご確認ください。

アプリケーション、周辺機器によっては、Windows 2000に対応していないものがあるので、ご注意ください。

P A R T

3

再セットアップ

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてトラブルを解決します。

再セットアップを行うと、必要なファイルやフォルダが消えてしまう場合があります。必ず、再セットアップの前に大切なファイルをCD-RやCD-RW、外付けのハードディスク、フロッピーディスクなどにバックアップしておいてください。



再セットアップが 必要なのは

再セットアップを行うと、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。

ただし、必要なファイルが消えてしまう場合があります。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。



再セットアップ

このパソコンのシステムが壊れてしまったときに、バックアップCD-ROMに入っているデータを使って、トラブルを解決する作業のことです。

Windowsの再インストールも再セットアップに含まれます。

再セットアップが必要なのはこんなときです

次のようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。目的にあわせて、再セットアップの種類を選んでください。

トラブルから復旧するための再セットアップ

ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しないときや、パソコンを使っていると頻繁にエラーメッセージが表示されたり、フリーズしたりするとき

PART1、PART2、サポートセンタなどを見て、原因をチェックし、考えられる対処法を試してみる

サポート窓口
問い合わせしてみる

・標準再セットアップモード
・データ保護再セットアップモード
・カスタムモード

Windowsが起動するときは、CD-R/RWや外付けハードディスクにバックアップを取って「標準再セットアップモード」で再セットアップすることをおすすめします。

Windows が起動しないとき

PART1、PART2などを見て、原因をチェックし、考えられる対処法を試してみる

サポート窓口
問い合わせしてみる

データ保護再セットアップモード

Windowsが起動しないときは、「データ保護再セットアップモード」がおすすめです。「データ保護再セットアップモード」は「バックアップ-NX」で設定したデータを保護して再セットアップを行います。

Windows Meの状態を変更するための再セットアップ

Windows Me を購入時の状態に戻したいとき

標準再セットアップモード

ハードディスクの設定を変更するための再セットアップ (カスタムモード)

ハードディスクを1つのパーティションにしたいとき

全領域を1パーティションに
して再セットアップする

Cドライブ以外のデータを残したまま再セットアップしたいとき

Cドライブのみ再セットアッ
プする

Cドライブの容量を変えたいとき

ハードディスクの領域を自由
に設定して再セットアッ
プする

✓チェック!!

カスタムモードは、パソコンに慣れていない方やハードディスクの知識があまりない方は行わないでください。

再セットアップに関する注意

- ・ご自分で作成した大切なデータは、CD-R/RWや外付けハードディスクなどに必ずバックアップしてから再セットアップしてください。
- ・再セットアップは、このあとの手順に必ずしたがって行ってください。データのバックアップ、インターネットなどの設定の記録、別売の周辺機器の取り外しなどの手順も省略しないで必ず行ってください。
- ・再セットアップは途中でやめないでください。途中でやめてしまったときは、もう一度最初からやり直してください。
- ・初心者やハードディスクの知識があまりない方は、カスタムモードでの再セットアップを行わないでください。

再セットアップの種類

再セットアップには、「標準再セットアップモード」、「データ保護再セットアップモード」、「カスタムモード」の3つがあります。ここでは5つのパターンに分けて、再セットアップの手順を説明します。

標準再セットアップモード

購入したときと同じ状態にする

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしてください。再セットアップする前に内蔵ハードディスクにあったデータは、再セットアップ後、すべて消えてしまいます。

📖参照

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」(p.75)

データ保護再セットアップモード

データを保護して再セットアップする

「バックアップ-NX」で設定したデータを保護して再セットアップをします。突然 Windows が起動しなくなった時など、パソコンの調子がおかしくなって、再セットアップをするときは、この方法を選んでください。

カスタムモード

パソコンに慣れていない方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法では再セットアップしないでください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。再セットアップの前に内蔵ハードディスクにあったデータは、再セットアップ後、すべて消えてしまいます。

Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザ設定)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときはこの方法で再セットアップします。

再セットアップの前に内蔵ハードディスクにあったデータは、再セットアップ後、すべて消えてしまいます。

✓チェック!!

この方法で再セットアップしても、データが完全に保護されない場合があります。バックアップがとれない場合以外は、「バックアップ-NX」を使うなどして再セットアップする前にバックアップを取ってください。

📖参照

- ・「データを保護して再セットアップする(データ保護再セットアップモード)」(p.86)
- ・バックアップのとり方 PART1の「データとインターネット設定のバックアップ」(p.7)

📖参照

「全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタムモード)」(p.91)

📖参照

「Cドライブのみ再セットアップする(カスタムモード)」(p.94)

📖参照

「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(カスタムモード)」(p.98)

<バックアップしたデータの保存先には要注意>

バックアップしたデータの保存先には注意が必要です。再セットアップすると、内蔵ハードディスクのデータはすべて消えてしまいます(「データ保護再セットアップモード」と「Cドライブのみ再セットアップする」を除く)。内蔵ハードディスクにバックアップしたデータも消えてしまいますので、再セットアップするときは、必ずCD-R/RWや外付けのハードディスクやフロッピーディスク、MO、Zipなどにバックアップを取るようしてください。

再セットアップ方法	バックアップ先
標準再セットアップモード (p.75)	・外付けのハードディスク
全領域を1パーティションにして再セットアップする (p.91)	・外付けのフロッピーディスク
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (p.98)	・MO、Zip、CD-R/RW など
データ保護再セットアップモード (p.86)	・Dドライブ
Cドライブのみを再セットアップする (p.94)	・外付けのハードディスク
	・外付けのフロッピーディスク
	・MO、Zip、CD-R/RW など

購入したときと 同じ状態にする

(標準再セットアップモード)

「標準再セットアップモード」で再セットアップを行うと、パソコンを購入時と同じ状態に戻すことができます。

標準再セットアップモードの手順

標準再セットアップモードは次の13項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきますので参考にしてください。

再セットアップを始めたら、途中でやめないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. BIOS の設定を初期値に戻す
4. 別売の周辺機器を取り外す
5. 必要なものを準備する
6. システムを再セットアップする(約 1 時間)
7. Windows Me の設定をする(約 10 分)
8. Office XP Personal を再セットアップする(Office XP モデルの場合)(約 30 分)
9. このパソコンの機能を使えるようにする(約 5 分)
10. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
11. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
12. 別売のアプリケーションをインストールし直す
13. バックアップしたデータを復元する

✓チェック!

- ・再セットアップは中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。


用語

バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてしまったときのために、CD-R/RWや外付けのハードディスク、フロッピーディスクなどに複製したものを作っておくことを「バックアップをとる」といいます。

1. バックアップをとる


ご自分で作成した大切なデータは、必ずCD-R/RWや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。また、内蔵のハードディスクに保存されていたデータはすべて消えてしまいます。Windowsを起動できるときは、大切なデータのバックアップを必ずとってから、再セットアップを行ってください。MOディスク、外付けハードディスクなどの記憶装置があると、まとめてバックアップをとることができるので便利です。このパソコンに搭載されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブでも、CD-RやCD-RWメディアに大量(650Mバイトなど)のバックアップをとれます。また、このパソコンには、簡単にバックアップを取ってあとから復元できる「バックアップ-NX」というアプリケーションがあります。「バックアップ-NX」を使えば、このパソコンに添付されているアプリケーションで作成されたデータや、インターネットの設定のバックアップを取るように設定することもできます。また、別売のアプリケーションで作成したデータのバックアップも取ることができます。詳しくは、「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

2. インターネットなどの設定を控える

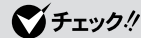
インターネットを使っているときは、インターネットのIDやアドレスなど、インターネット接続に必要な情報をメモしてください。インターネットなどの設定は、再セットアップを行うとすべて消去されます。

インターネット接続時の設定をバックアップする

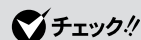
「バックアップ-NX」を使うと、電話回線を使ってインターネットへ接続するときに設定する情報の一部をバックアップできます。「バックアップ-NX」について詳しくは、「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」をご覧ください。



バックアップのとり方 PART1の「データとインターネット設定のバックアップ」(p.7)




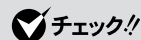
- ・バックアップは、必ずCD-R/RWや外付けハードディスクなどに取ってください。Dドライブにバックアップしたデータは、標準再セットアップモードで再セットアップを行うとすべて消去されてしまいます。
- ・ご購入時の状態では、「バックアップ-NX」はDドライブにバックアップを取るように設定されています。標準再セットアップモードではDドライブのデータもすべて消去されてしまいます。その場合は、CD-R/RWや外付けハードディスクなどにバックアップを取ってください。



再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、あとで設定し直してください。



バックアップ-NXの使い方 「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」



ダイヤルアップネットワークのパスワードはバックアップされません。

BIGLOBEに入会して、会員証があるときは、会員証を用意してください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。

入会してまだ会員証が届いていないときなど、会員証がないときは、『使っておぼえるパソコンの基本』の「付録 BIGLOBE 入会案内」を参考にして、次の項目をメモしてください。

- ・ユーザー ID
- ・仮パスワード、または正式パスワード
- ・電子メールアドレス
- ・メールパスワード
- ・プライマリ DNS
- ・セカンダリ DNS
- ・インターネットメールサーバ
- ・ニュースサーバ
- ・設定したアクセスポイントの電話番号

また、BIOSの設定を変更した場合は、BIOSセットアップメニューを起動して、現在の設定を控えてください。

3. BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の設定を変更した場合は、BIOS のセットアップメニューを起動して、BIOS の設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。

4. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

『はじめにお読みください』をご覧になって、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

5. 必要なものを準備する

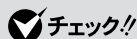
再セットアップの作業をはじめる前に、このパソコンに添付されている次の CD-ROM を準備してください。

- ・「バックアップ CD-ROM」
- ・「Microsoft® Office XP Personal」CD-ROM(Office XP モデルのみ)

また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。準備しておいたほうがいいでしょう。



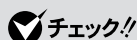
『使っておぼえるパソコンの基本』の「付録 BIGLOBE 入会案内」



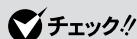
受信したメールや「お気に入り」に登録した URL は、再セットアップを行うと消えてしまいます。必要な場合は、「バックアップ-NX」でメールや URL ファイルのバックアップをとっておいてください。



BIOS の設定を初期値に戻すには『もっと知りたいパソコン』PART 14 の「BIOS セットアップメニュー」



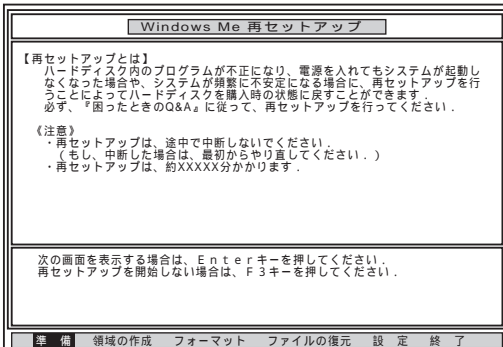
外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。



準備するものは、モデルによって異なります。再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、すべて準備してください。

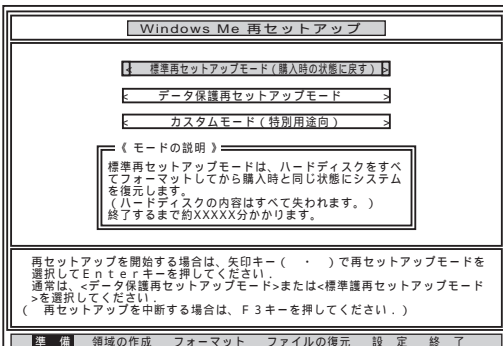
6. システムを再セットアップする

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「バックアップCD-ROM (起動用)」をCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットします。
次の画面が表示されます。



再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。
「バックアップCD-ROM (起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、「バックアップCD-ROM (起動用)」を入れたまま、電源を切って、入れ直してください。

- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。



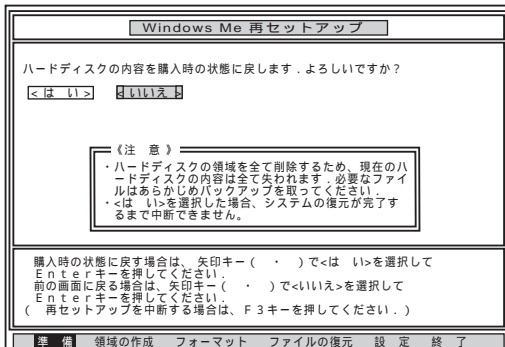
チェック!!

- ・ここに掲載されている画面は、モデルや設定によって、実際に表示される画面とは異なることがあります。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。
- ・CD-ROM が認識されずにエラーメッセージが表示された場合は、ご購入元または NEC にお問い合わせください。

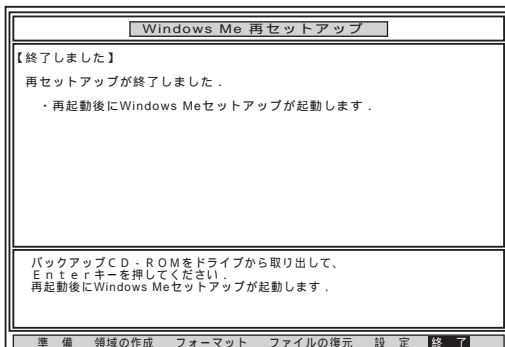
参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』、『「サポートセンター」-「NECのサービス&サポート」

- 5 「標準再セットアップモード(購入時の状態に戻す)」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。
- 「標準再セットアップモード(購入時の状態に戻す)」が黄色になっていないときは、【><】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。
- 「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



- 6 「いいえ」が黄色になっているので、【><】キーを押して「はい」を黄色にしてから、【Enter】キーを押します。
- ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、画面の説明を見て入れ替えてください。
- ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 7 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。再セットアップ中に数回ピーブ音(ピーという音)が鳴りますが、故障ではありません。再セットアップは正しく進んでいます。

✓チェック!!

左の画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。初めからやり直してください。

8 【Enter】キーを押します。

システムが再起動し、しばらくすると「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されます。



7. Windows Me の設定をする

1 「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されていることを確認して「次へ」をクリックします。



スクロールボタンをクリックすると、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。

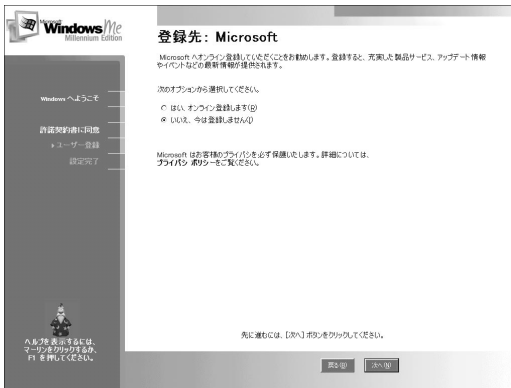
メモ

ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときに行ったセットアップ手順と同じです。詳しくは『はじめにお読みください』の「電源を入れてパソコンを使えるようにする」をご覧ください。

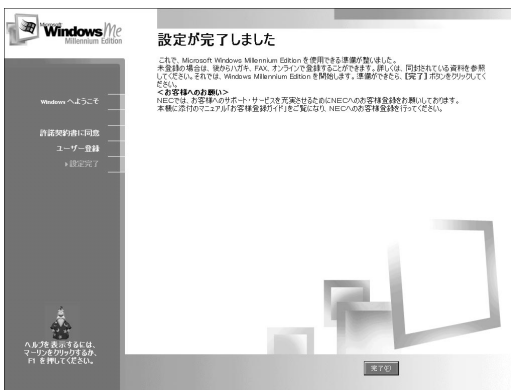
チェック!!

「戻る」をクリックすると、「Microsoft Windows へようこそ」の画面に戻ります。

- 2 「同意します」の をクリックして にし、「次へ」をクリックします。
「登録先：Microsoft」が表示されます。



- 3 「いいえ、今は登録しません」の をクリックして にし、「次へ」をクリックします。
「設定が完了しました」が表示されます。



- 4 「完了」をクリックします。
Windows Meのデスクトップ画面が表示されます。

以上で、Windows Meの設定は終了です。

Office XPモデルの場合は、次の「8. Office XP Personalを再セットアップする(Office XPモデルの場合)」に進んでください。

Office XPモデル以外の場合は、「9. このパソコンの機能を使えるようにする」(p.84)に進んでください。



8. Office XP Personal を再セットアップする(Office XP モデルの場合)

Office XP モデルをお使いの場合は、Office XP Personal を再セットアップしてください。

Office XP Personal のセットアップ

本機にセットアップされている「Office XP Personal」は、音声認識機能以外の機能がセットアップされています。必要のない機能を削除する方法や、削除した機能を再追加する方法については、添付の「Office XP Personal」のマニュアルをご覧ください。


ここでは、「カスタム」で音声認識機能以外の機能をセットアップする方法を説明します。

- 1 「Microsoft® Office XP Personal」CD-ROMをCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットします。
「Microsoft Office XP セットアップ」ウィンドウが表示されます。
「Microsoft Office XP セットアップ」ウィンドウが自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 2 「次へ」をクリックします。
「使用許諾契約書」と表示されます。
- 3 内容に同意の上、「使用許諾契約書」の条項に同意しますの をクリックして にして、「次へ」をクリックします。
「インストールの種類を指定してください」と表示されます。
- 4 「カスタム」の をクリックして にします。
インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先を選び、「OK」をクリックしてください。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の をクリックして にします。
- 7 「次へ」をクリックします。
「Officeのアプリケーションとツールのインストール オプションを指定してください」と表示されます。
- 8 「Microsoft Office」の左側に表示されているアイコン  をクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。
- 9 「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。
- 10 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の左側に表示されているアイコン  をクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。

✓チェック!!




ユーザー情報(ユーザ名など)は入力しないでください。ここでは日本語入力等ができません。

✓チェック!!

インストール先をDドライブに指定した場合、ランチ NXには、Word、Excel、Outlookは自動登録されません。ランチ NXに登録するには、 「添付ソフトの使い方」「ランチNX」をご覧ください。

✓チェック!!

灰色で表示されたフォルダがないことを確認してください。灰色で表示されているフォルダがあった場合は、手順8からやり直してください。

- 11 「インストールしない」をクリックします。
- 12 「Office共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の左側に表示されているアイコンをクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。
- 13 「インストールしない」をクリックします。
- 14 「Office共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッド アプレット」-「音声アプレット」の左側に表示されているアイコンをクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。
- 15 「インストールしない」をクリックします。
- 16 「Officeツール」-「高速検索のサポート」の左側に表示されているアイコンをクリックします。
プルダウンメニューが表示されます。
- 17 「インストールしない」をクリックします。
- 18 「次へ」をクリックします。
「インストールを開始します」と表示されます。
- 19 「完了」をクリックします。
インストールが始まります。
- 20 再起動を促すメッセージが表示された場合は「はい」をクリックします。
Windowsが再起動します。
- 21 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから、CD-ROMを取り出します。
以上で、Office XP Personalのセットアップは終了です。

再セットアップ後、Office XP Personalを利用するときの注意

パソコンの再セットアップ後、Office XP Personalの各アプリケーション(Word やExcel など)を最初に起動したときに、「Office XP 使用許諾契約書」ウインドウが表示されます。この場合は、次の手順で、ライセンス認証手続きを行ってください。

- 1 「同意する」をクリックします。
「Microsoft Office XP セットアップ」ウインドウが表示されます。
- 2 ユーザー情報を入力し、「OK」をクリックします。
「ライセンス認証ウィザード」が表示されます。
ウィザードの画面の案内に従って、ライセンス認証手続きを行ってください。認証手続きのしかたについて、詳しくは添付の「Office XP Personal」のマニュアルをご覧ください。

✓チェック!!

ライセンス認証手続きは、必ず、パソコンの再セットアップの作業がすべて終わった後に行ってください。

9. このパソコンの機能を使えるようにする

このパソコンのいろいろな機能を使えるようにするため、必ずこの操作を行ってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「VALUESTARを使う準備をします」をクリックします。
「VALUESTARを使う準備が終わりました」と表示されます。
- 2 「OK」をクリックします。
自動的にパソコンが再起動して、アクティブメニューNXが表示されます。

以上で、このパソコンの設定は終了です。

次の「10. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」に進んでください。

10. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
- 2 「終了」を選択して、「OK」をクリックします。
パソコンの電源が切れます。

「4.別売の周辺機器を取り外す (p.77)で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップや設定を行ってください。

11. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、設定し直してください。

インターネットを使っていたときや、BIOSの設定を変更していたときは、「2.インターネットなどの設定を控える (p.76)であらかじめとっておいたバックアップや設定、控えたメモの設定に戻してください。

「バックアップ-NX」を使ってインターネットの設定をバックアップしていた場合は、簡単にインターネットなどの設定を元に戻すことができます。IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。

12. 別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。


チェック!!

このパソコンでは、この操作をしないと日本語入力等ができません。


参照

周辺機器の設定 周辺機器のマニュアル、『もっと知りたいパソコン』

参照

インターネットの再設定  「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

13. バックアップしたデータを復元する

「1.バックアップをとる」(p.76)でバックアップしたアプリケーションのデータを復元してください。詳しい手順については、「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

チェック!!

データ保護再セットアップを行った場合は、再セットアップ後に、データが正しく復元されているか確認してください。復元に失敗した場合は、「1.バックアップをとる」でバックアップしたデータを復元してください。

データを保護して 再セットアップする (データ保護再セットアップモード)

Windows が起動しないときや、何らかの理由で、データのバックアップがとれないときは「データ保護再セットアップモード」で再セットアップを行ってください。「バックアップ-NX」で設定しているデータを保護して、再セットアップをします。

パソコンの調子がおかしくなって再セットアップをするときには、「データ保護再セットアップモード」で行ってください。

「データ保護再セットアップモード」を行うときの注意

再セットアップをすると、インターネットの設定は消えてしまいます。再セットアップ後、設定をし直してください。

次の場合は、データ保護再セットアップはできません。

- ・ 保護するデータを設定したファイルがないか、設定した内容に問題があるとき
- ・ 以下のように、バックアップ-NXで設定したデータの総容量が大きいとき
(Cドライブの容量) < (バックアップ-NXで設定してあるデータの容量)
+ (ご購入時のCドライブの使用量)

次のものは、バックアップ - NXで設定していない場合、保護されません。

- ・ ご購入時にインストールされていないアプリケーションのデータ
- ・ 「Outlook Express」のメールやアドレス帳
- ・ ビットキャストブラウザのデータ(TVモデルのみ)
- ・ モジモジ-NXのデータ(TVモデルのみ)
- ・ ADAMSナビのデータ(TVモデルのみ)

「データ保護再セットアップモード」の手順

次の13項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書きおきますので参考にしてください。

再セットアップを始めたら、途中でやめないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

Windows が起動しない場合は、「4. 別売の周辺機器を取り外す」(p.89)から行ってください。

☑️チェック!!

データ保護再セットアップモードは、「バックアップ-NX」で設定しているデータを保護して再セットアップする方法です。データ保護再セットアップモードで再セットアップを行っても、データが完全には保護されない場合があります。Windowsが起動して、バックアップがとれるときは、「バックアップ-NX」などを使って必ずバックアップを取ってください。

☑️チェック!!

- ・ 再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは最初からやり直してください。
- ・ 再セットアップにかかる時間は、モデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. BIOS の設定を初期値に戻す
4. 別売の周辺機器を取り外す
5. 必要なものを準備する
6. システムを再セットアップする(約 1 時間)
7. Windows Me の設定をする(約 10 分)
8. Office XP Personal を再セットアップする(Office XP モデルの場合)(約 30 分)
9. このパソコンの機能を使えるようにする(約 5 分)
10. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
11. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
12. 別売のアプリケーションをインストールし直す
13. バックアップしたデータを復元する

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずCD-R/RWや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「1. バックアップをとる(p.76)をご覧ください、データのバックアップをとってください。

データ保護再セットアップでは、バックアップ-NX で設定したデータや、Dドライブのデータは保護されますが、それ以外のデータは消えてしまいます。必要なデータは必ずバックアップをとってください。

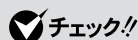
データ保護再セットアップモードで再セットアップする場合、データを一時的にDドライブにバックアップして再セットアップを行うことができます。ただし、再セットアップに失敗すると、保護できるはずのDドライブ以降のデータや、バックアップ-NX で設定したデータも失われてしまう場合があります。再セットアップをするときは、CD-R/RW や外付けのハードディスクなどにも必ずバックアップを取ってください。

必要なデータをDドライブにバックアップする

ここでは例として、「バックアップ-NX」をつかってデータをDドライブにバックアップする手順を説明します。「バックアップ-NX」を使うと、データの他にインターネットの設定もバックアップできます。

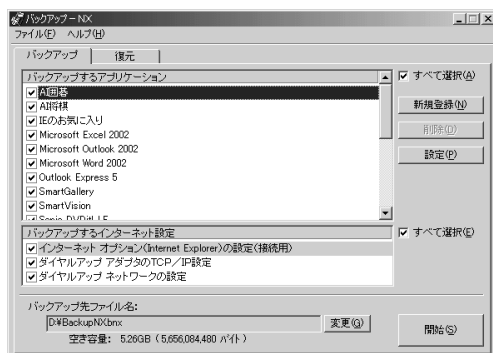


バックアップの取り方、「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」



- ・バックアップ-NXを使ってDドライブにバックアップできるのは、文書や表計算などのデータファイルと、インターネットの設定です。
- ・Dドライブへのデータのコピーは一時的なものです。再セットアップ完了後、必ず別の媒体(CD-R/RWなど)にバックアップを取るようにしてください。
- ・Dドライブにアプリケーションをコピーしても、バックアップを取ったことにはなりません。アプリケーションは再セットアップ後、再インストールしてください。アプリケーションをDドライブにインストールして、「データ保護再セットアップモード」を選択しても多くの場合、正常には動作しません。
- ・「バックアップ-NX」では、ダイヤルアップネットワークのパスワードはバックアップされません。
- ・バックアップしたいデータがDドライブに入りきらない場合は、CD-R/RW や外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」->「アプリケーション」->「バックアップ-NX」の順にクリックします。
- 2 「バックアップする」を選択して、「OK」をクリックします。
「バックアップ-NX」が起動します。



- 3 「バックアップするアプリケーション」一覧から、データをバックアップするアプリケーションを、「バックアップするインターネット設定」一覧から、バックアップする設定を選びます。
- 4 「バックアップデータを保存する場所」を指定します。「D : ¥BackupNX.bnx」が選択されている(標準の状態)を確認して、「開始」をクリックします。
バックアップが始まります。バックアップが終了すると、「バックアップは正常終了しました」と表示されます。
- 5 「閉じる」をクリックします。
- 6 「バックアップ-NX」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。
これでバックアップは完了です。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「2. インターネットなどの設定を控える (p.76)」をご覧ください。必要な情報を控えてください。

インターネットの設定をバックアップするには、「バックアップ-NX」を使うことをおすすめします。

3. BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の設定を変更した場合は、BIOS のセットアップメニューを起動して、BIOS の設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。


メモ

アプリケーションのデータの保存先を初期設定から変更していたり、同じフォルダの中の一部のデータだけをバックアップしたい場合などは、「設定」をクリックして、表示された画面の説明を見て、保存先やファイルの種類を指定してください。

チェック!!

「バックアップ-NX」でバックアップできるのはすべてのデータではありません。詳しくは「バックアップ-NX」のヘルプをご覧ください。

参照

インターネットの設定を控える 
「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

参照

BIOS の設定を初期値に戻すには『もっと知りたいパソコン』PART14 の「BIOS セットアップメニュー」

4. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

『はじめにお読みください』をご覧になって、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

5. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「5. 必要なものを準備する」(p.77)をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

6. システムを再セットアップする

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐに「バックアップCD-ROM (起動用)」をCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。
- 5 【 】キーを1回押して「データ保護再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【 】キーを押すすぎたときは、【 】キーを押して戻してください。)
「データ保護再セットアップモードの注意事項」が表示されます。
- 6 【Enter】キーを押します。
「Cドライブの内容から、バックアップ-NXで設定されているデータを残して、その他のファイルを削除し、システムを復元します。よろしいですか?」と表示されます。

☑️チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

☑️チェック!!

「バックアップCD-ROM」(起動用)のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は「バックアップCD-ROM (起動用)」を入れたまま電源を切って、手順1からやり直してください。

7 【 】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

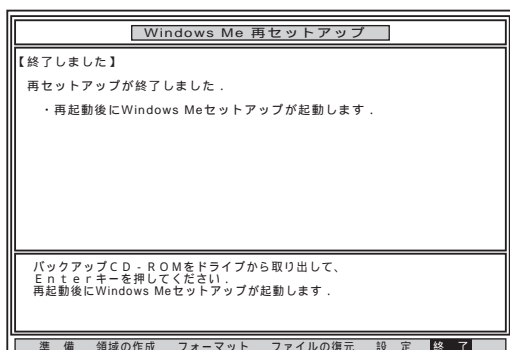
(【 】キーを押すすぎたときは【 】キーを押して戻してください。)

「しばらくお待ちください」と表示されます。

再セットアップが始まります。

途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、画面の説明を見て入れ替えてください。

再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。



8 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

9 【Enter】キーを押します。

パソコンが再起動し、しばらくすると「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されます。

10 これ以降の操作は、標準再セットアップモードの場合と同じです。「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする」(p.80)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする」(p.80)に進んでください。

✓チェック!!

再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ピープ音(ビーという音)が鳴りますが、故障ではありません。再セットアップは正しく進んでいます。

✓チェック!!

左の画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。PART2の「データ保護再セットアップモード中にエラーメッセージが表示された」(p.67)をご覧ください。

✓チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする」(p.80)以降の操作を行ってください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタムモード)

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、ここをご覧ください。

「全領域を1パーティションにして再セットアップ」の手順

次の13項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書きおきますので参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめしないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. BIOS の設定を初期値に戻す
4. 別売の周辺機器を取り外す
5. 必要なものを準備する
6. システムを再セットアップする(約1時間)
7. Windows Me の設定をする(約10分)
8. Office XP Personal を再セットアップする(Office XP モデルの場合)(約30分)
9. このパソコンの機能を使えるようにする(約5分)
10. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
11. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
12. 別売のアプリケーションをインストールし直す
13. バックアップしたデータを復元する

✓チェック!!

- ・この方法では、システムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。
- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは最初からやり直してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずCD-R/RWや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「1. バックアップをとる (p.76) をご覧になり、データのバックアップをとってください。

ハードディスクのデータはすべて、再セットアップによって消去されます。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「2. インターネットなどの設定を控える (p.76) をご覧になり、必要な情報を控えてください。

インターネットの設定をバックアップするには、「バックアップ-NX」を使うことをおすすめします。

3. BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の設定を変更した場合は、BIOS のセットアップメニューを起動して、BIOS の設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。

4. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

『はじめにお読みください』をご覧になって、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

5. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「5. 必要なものを準備する (p.77) をご覧になり、再セットアップに必要なものを準備してください。

6. システムを再セットアップする

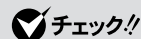
1 パソコンの電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐに「バックアップCD-ROM (起動用) を CD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットします。

「再セットアップとは」の画面が表示されます。再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。



バックアップの取り方 PART1の「データとインターネット設定のバックアップ」(p.7) 「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」



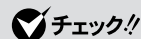
バックアップは、必ず CD-R/RW や外付けハードディスクなどに取ってください。Dドライブにバックアップしたデータは「全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタムモード)」を行うとすべて消去されてしまいます。



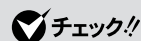
インターネットの設定を控える 「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」



BIOS の設定を初期値に戻すには『もっと知りたいパソコン』PART14の「BIOS セットアップメニュー」



外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。



「バックアップ CD-ROM」(起動用)のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は「バックアップ CD-ROM」を CD-R/RW with DVD-ROM ドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。
- 5 【**C**】キーを2回押して「カスタムモード(特別用途向)」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【**C**】キーを押すすぎたときは【**Esc**】キーを押して戻してください。)
カスタムモードの種類を選ぶ画面が表示されます。
- 6 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを確認して、【Enter】キーを押します。
「ハードディスクの領域を下記のように設定し、システムを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 7 【**C**】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【**C**】キーを押すすぎたときは、【**Esc**】キーを押して戻してください。)
「ハードディスクの領域作成中です。」と表示されます。
ハードディスクの領域作成とシステムの再セットアップが始まります。
途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、画面の説明を見て入れ替えてください。
システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。
- 8 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。
- 9 【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、しばらくすると「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されます。
- 10 これ以降の操作は、標準再セットアップモードの場合と同じです。
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする(p.80)」に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする(p.80)」に進んでください。

✓チェック!!

ハードディスクの領域の確保とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。
再セットアップ中に数回ピーブ音(ビーという音)が鳴りますが、故障ではありません。再セットアップは正しく進んでいます。

✓チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする(p.80)」以降の操作を行ってください。

Cドライブのみ 再セットアップする (カスタムモード)

Cドライブのみを再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合にこの方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

「Cドライブのみを再セットアップ」の手順

次の13項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. BIOSの設定を初期値に戻す
4. 別売の周辺機器を取り外す
5. 必要なものを準備する
6. システムを再セットアップする(約1時間)
7. Windows Meの設定をする(約10分)
8. Office XP Personalを再セットアップする(Office XPモデルの場合)(約30分)
9. このパソコンの機能を使うようにする(約5分)
10. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
11. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
12. 別売のアプリケーションをインストールし直す
13. バックアップしたデータを復元する

✔チェック!!

Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しないときは、再セットアップ後に、アプリケーションもインストールし直してください。

✔チェック!!

- ・この方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データはすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。
- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときはもう一度最初からやり直してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずCD-R/RW や外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

Cドライブのデータは、再セットアップによってすべて消去されてしまいます。「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「1.バックアップをとる」(p.76)をご覧ください。データのバックアップをとってください。

「Cドライブのみ再セットアップする」の手順で再セットアップする場合、データを一時的にDドライブにバックアップして再セットアップを行うことができます。

ただし、再セットアップに失敗すると、Dドライブ以降のデータも失われてしまう場合があります。再セットアップをするときは、CD-R/RW や外付けのハードディスクなどにも必ずバックアップを取ってください。

Dドライブにデータをバックアップする方法は、「データを保護して再セットアップする(データ保護再セットアップモード)」の「必要なデータをDドライブにバックアップする」(p.87)をご覧ください。

2. インターネットなどの設定を控える


「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「2.インターネットなどの設定を控える」(p.76)をご覧ください。必要な情報を控えてください。

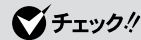
インターネットの設定をバックアップするには、「バックアップ-NX」を使うことをおすすめします。

3. BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の設定を変更した場合は、BIOS のセットアップメニューを起動して、BIOS の設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。




バックアップの取り方  「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」



- ・「バックアップ-NX」を使ってDドライブにバックアップできるのは、文書や表計算などのデータファイルと、インターネットの設定です。
- ・Dドライブへのデータのコピーは一時的なものです。再セットアップ完了後、必ず別の媒体(CD-R/RWなど)にバックアップを取るようしてください。
- ・Dドライブにアプリケーションをコピーしても、バックアップを取ったことにはなりません。アプリケーションはCドライブを再セットアップ後、再インストールしてください。アプリケーションをDドライブにインストールして、「Cドライブのみ再セットアップする」を選択しても多くの場合、正常には動作しません。
- ・「バックアップ-NX」では、ダイヤルアップネットワークのパスワードはバックアップされません。
- ・バックアップしたいデータがDドライブに入りきらない場合は、CD-R/RW や外付けハードディスクなどにバックアップしてください。



インターネットの設定を控える  「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」



BIOS の設定を初期値に戻すには『もっと知りたいパソコン』PART14の「BIOS セットアップメニュー」

4. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

『はじめにお読みください』をご覧ください。このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

5. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「5. 必要なものを準備する (p.77)」をご覧ください。再セットアップに必要なものを準備してください。

6. システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れます。

2 電源ランプがついたらすぐに「バックアップCD-ROM (起動用)」をCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。

3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】キーを押します。
再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

5 【 F10 】キーを2回押して「カスタムモード (特別用途向)」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【 F10 】キーを押すすぎたときは【 F10 】キーを押して戻してください。)
カスタムモードの種類を選ぶ画面が表示されます。

6 【 F11 】キーを1回押して「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【 F11 】キーを押すすぎたときは【 F11 】キーを押して戻してください。)
「Cドライブの内容を消去し、システムを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

7 【 F12 】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【 F12 】キーを押すすぎたときは、【 F12 】キーを押して戻してください。)
システムの再セットアップが始まります。
途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、画面の説明を見て入れ替えてください。
システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。

☑️チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

メモ

「バックアップCD-ROM」(起動用) のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、「バックアップCD-ROM」をCD-R/RW with DVD-ROMドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

☑️チェック!!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ピーブ音 (ビーという音) が鳴りますが、故障ではありません。再セットアップは正しく進んでいます。

- 8 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。
- 9 【Enter】キーを押します。
Windows Meが再起動し、しばらくすると「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されます。
- 10 これ以降の操作は、標準再セットアップモードの場合と同じです。
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする (p.80)」に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする (p.80)」に進んでください。

チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Meの設定をする」(p.80)以降の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (カスタムモード)

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしないでください。

ユーザ設定の手順

ユーザ設定は次の17項目の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきますので参考にしてください。

再セットアップを始めたら途中でやめないでください。必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. BIOSの設定を初期値に戻す
4. 別売の周辺機器を取り外す
5. 必要なものを準備する
6. 領域を削除する(約5分)
7. 領域を作成する(約5分)
8. ドライブを初期化(フォーマット)する(約5~20分)
9. システムを再セットアップする(約1時間)
10. Windows Meの設定をする(約10分)
11. Office XP Personalを再セットアップする(Office XPモデルの場合) (約30分)
12. このパソコンの機能を使えるようにする(約5分)
13. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする
14. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
15. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
16. 別売のアプリケーションをインストールし直す
17. バックアップしたデータを復元する

✓チェック!!

ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示される画面と異なることがあります。

✓チェック!!

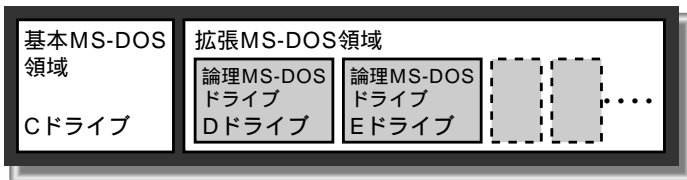
- ・ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。
- ・再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。
- ・ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタムモードでは、カスタムモードの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し、次に領域を好みの容量にして作り直します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに分けます。このうち、基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows Meを起動するドライブ)になり、論理MS-DOSドライブがD以降のドライブになります。

・ハードディスクの領域



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

領域を作ったあと、カスタムモードの画面からFORMATコマンドを実行してそれぞれのドライブをフォーマットします。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずCD-R/RWや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「1. バックアップをとる(p.76)をご覧ください。データのバックアップをとってください。すべてのハードディスクのデータは、再セットアップによって消去されます。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。



基本MS-DOS領域

起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows Meをインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

拡張MS-DOS領域

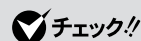
基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ(Dドライブ以降のドライブ)を割り当てます。

論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。



バックアップの取り方 「添付ソフトの使い方」・「バックアップ-NX」



チェック!!
バックアップは、必ずCD-R/RWや外付けハードディスクなどに取ってください。Dドライブにバックアップしたデータは「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(カスタムモード)」を行うとすべて消去されてしまいます。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「2. インターネットなどの設定を控える (p.76)」をご覧ください、必要な情報を控えてください。

インターネットの設定をバックアップするには、「バックアップ-NX」を使うことをおすすめします。

3. BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の設定を変更した場合は、BIOS のセットアップメニューを起動して、BIOS の設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。

4. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

『はじめにお読みください』をご覧ください、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

5. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「5. 必要なものを準備する (p.77)」をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

6. 領域を削除する

ハードディスクの領域を削除します。

1 パソコンの電源を入れます。

2 電源ランプがついたら、すぐに「バックアップCD-ROM (起動用)をCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットします。

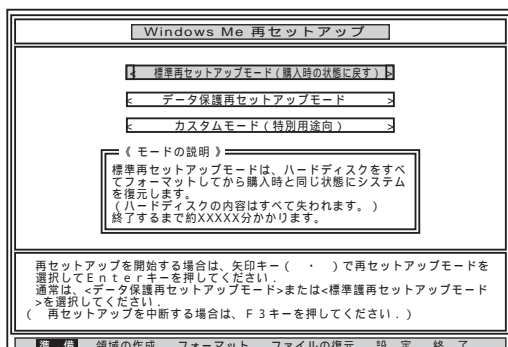
「再セットアップとは」の画面が表示されます。再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。

3 【Enter】キーを押します。


「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】キーを押します。

再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。



参照

インターネットの設定を控える 
「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

参照

BIOS の設定を初期値に戻すには
『もっと知りたいパソコン』PART14
の「BIOS セットアップメニュー」

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップを行うと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

メモ

「バックアップCD-ROM」(起動用)のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、バックアップCD-ROMをCD-R/RW with DVD-ROMドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

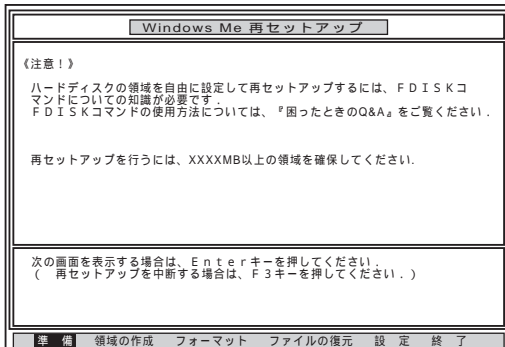
- 5 【 】キーを2回押して「カスタムモード(特別用途向)」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【 】キーを押しすぎたときは、【 】キーを押して戻してください)。

カスタムモードの種類を選ぶ画面が表示されます。

- 6 【 】キーを2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

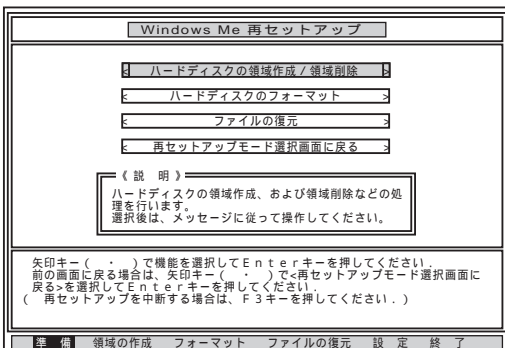
(【 】キーを押しすぎたときは、【 】キーを押して戻してください。)

「注意！」の画面が表示されます。



- 7 【Enter】キーを押します。

次の画面が表示されます。



- 8 「ハードディスクの領域作成/領域削除」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

「ハードディスクの領域作成/領域削除」が黄色になっていないときは、【 】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

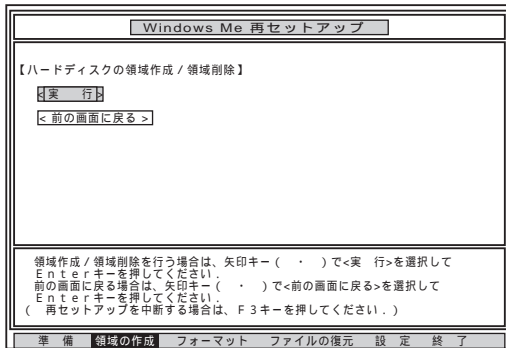
「ハードディスクの領域作成/領域削除」の画面が表示されます。

✓チェック!!

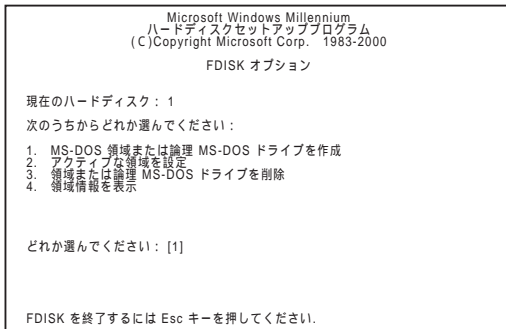
カスタムモードを中止するときは【F3】キーを押してください。

✓チェック!!

再セットアップに必要なハードディスクの容量が表示されますので、お使いのモデルに合った容量を控えておいてください。



- 9 「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。
 「実行」が黄色になっていないときは、【 】キーを押して黄色にしてから【Enter】キーを押してください。
 「FDISKオプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないとき(Cドライブのみの場合)は、「基本MS-DOS領域を削除する」(p.104)に進んでください。
 ハードディスクに論理MS-DOSドライブ、および拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

論理 MS-DOS ドライブを削除する

- 10** 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。
- 11** 【3】キー(拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。
ドライブの一覧が表示され、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。
- 12** 削除するドライブのキーを押して(Dドライブを削除するときは【D】キーを押す)【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 13** 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられているときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのまま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 14** 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました。」と表示されます。
- 15** 残りのドライブがあるときは残りのドライブもすべて手順12～14の方法で削除します。
すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました。」と表示されます。
- 16** 【Esc】キーを押します。
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました。」と表示されます。
- 17** 【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

拡張 MS-DOS 領域を削除する

- 18** 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。
- 19** 【2】キー(拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】キーを押します。
「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続きますか(Y/N)」と表示されます。
- 20** 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「拡張MS-DOS領域を削除しました。」と表示されます。
- 21** 【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

基本 MS-DOS 領域を削除する

22 【3】キー(領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、
【Enter】キーを押します。

23 【1】キー(基本 MS-DOS 領域を削除)を押して、【Enter】キーを押します。
現在のハードディスクの状態が表示され、「削除した基本 MS-DOS
領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示
されます。

24 【1】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

25 「WINDOWSME」と入力して、【Enter】キーを押します。
別のボリュームラベルがつけられているときは、その名前を入力しま
す。ボリュームラベルがつけられていないときは、なにも入力しない
でそのまま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

26 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「基本 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示されます。

27 【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次の「7.領域を作成する」に進んでください。

7. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成してください。削除した領域の容量を合計した範囲内で、新しい領域を確保します。

・領域の分け方の例

60Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を40Gバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を15Gバイト、約2Gバイトの論理MS-DOSドライブにする。

60Gバイトのハードディスク		
基本MS-DOS領域 (FAT32)	拡張MS-DOS領域	
Cドライブ 40Gバイト	論理MS-DOS ドライブ(FAT32) Dドライブ 15Gバイト	論理MS-DOS ドライブ(FAT32) Eドライブ 約2Gバイト

基本 MS-DOS 領域を作成する

- 1 「FDISK オプション」の画面で、「どれかを選んでください:」の右に「1」(MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)が表示されるので、【Enter】キーを押します。
- 2 「どれかを選んでください:」の右に「1 (基本 MS-DOS 領域を作成)」が表示されているので、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されます。

(a)最大サイズの領域を作成したいとき

ハードディスクの領域を分けずに一つの領域にする場合には、次の操作をしてください。

- (1)【Y】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブは、FAT32です。」と表示されます。
- (2)【Esc】キーを押します。
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。
- (3)【Esc】キーを押します。
「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、【 】キーを1回押し、<いいえ>を選び、【Enter】キーを押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

チェック!!

カタログなどに記載されるハードディスクの容量は1Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。実際は、領域作成をすると1Gバイトは10億バイトよりもう少し大きくなるので、ハードディスクの容量が少なく表示されますが、故障ではありません。

(4)【Enter】キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

「Windows Me再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。「8. ドライブを初期化(フォーマット)する」(p.109)に進んでください。

(b)サイズを指定して領域を作成したいとき

(1)【N】キーを押し、【Enter】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。

(2)必要な空き容量(p.101)以上の数値(領域のサイズ、Mバイト単位)を入力して、【Enter】キーを押します。

たとえば、2,047Mバイトの領域を確保するときは、【2】0【4】7【Enter】の順にキーを押します。また、全体に対する割合で入力することもできます。たとえば、60Gバイトモデルで30Gバイトの領域を確保するときは、【5】0【%】【Enter】の順にキーを押します。

(3)【Esc】キーを押します。

(4)【Esc】キーを押します。

「FDISKオプション」の画面に戻ります。

(5)【2】キー(アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】キーを押します。

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

(6)【1】キーを押して、【Enter】キーを押します。

「領域1がアクティブになりました。」と表示されます。

(7)【Esc】キーを押します。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張 MS-DOS 領域と論理 MS-DOS ドライブを作成します。

チェック!!

- ・「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示された場合(指定した領域が512 ~ 2047Mバイトの場合)は、Nを選択して【Enter】キーを押してください。
- ・「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されたときは、【Esc】キーを押します。自動的にFAT32に設定されます。
- ・作成するハードディスクの容量は、p.101で控えた容量以上の領域で作成してください。

拡張 MS-DOS 領域を作成する

- 3 「どれか選んでください:」の右に「1 (MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成) が表示されているのを確認し、【Enter】キーを押します。
- 4 【2】キー(拡張MS-DOS領域を作成) を押し、【Enter】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作りませ」と表示され、残っている領域のサイズが表示されます。
- 5 そのまま【Enter】キーを押します。
「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。
- 6 【Esc】キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。」と表示されます。

論理 MS-DOS ドライブを割り当てる

- 7 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てたいときは、そのまま【Enter】キーを押します。
サイズを指定するときは、数字を入力して【Enter】キーを押します。
 - ・指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
「ドライブのサイズが2,048Mバイト以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示され、自動的にFAT32に設定されます。
【Esc】キーを押します。
 - ・指定したサイズが2,047Mバイト以下の場合
「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか」と表示されます。【N】キーを押します。

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

手順7をくりかえして、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当ててください。

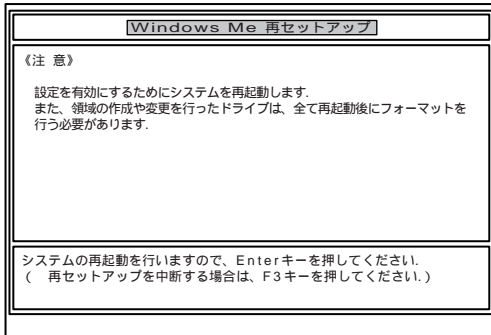
- 8 すべての領域を割り当てたら、【Esc】キーを押します。
- 9 「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられます」と表示されるので、【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面に戻ります。

10 【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。

11 【Esc】キーを押します。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します。」と表示されます。



12 【Enter】キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

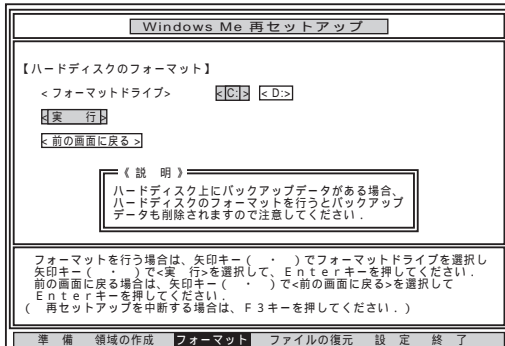
「Windows Me 再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。次の「8. ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

8. ドライブを初期化(フォーマット)する

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

- 1 【C】キーを1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【C】キーを押すすぎたときは、【C】キーを押して戻してください)



- 2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】キーを押します(【C】キーを押すすぎたときは、【C】キーを押して戻してください)。
「注意: ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますが(Y/N)?」と表示されます。
- 3 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
フォーマットが始まります。作成した領域の大きさにもよりますが、5分~30分ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。必要がなければ、【Enter】キーだけを押します。
ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで入力できます。
「Windows Me 再セットアップ」の画面に戻ります。

新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1~4をくりかえして、フォーマットしてください(手順2のドライブ名は、【C】キーを押して選んでください)。

ハードディスクドライブを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)すると、これ以降のドライブ(G,H,I...)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

G以降のドライブについては、「13.フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする」(p.111)でフォーマットします。

次の「9. システムを再セットアップする」に進んでください。

メモ

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選べると全般シートで入力、変更することができます。

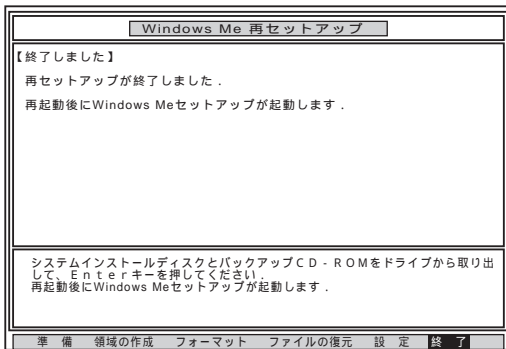
チェック!!

「バックアップ CD-ROM」(起動用)はCD-R/RW with DVD-ROMドライブから取り出さないでください。

9. システムを再セットアップする

- 1 「Windows Me 再セットアップ」の画面で【**Enter**】キーを2回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【**Enter**】キーを押しすぎたときは、【**Esc**】キーを押して戻してください)。
- 2 「ファイルの復元」の画面が表示されたら、「実行」が選ばれていることを確認して、【Enter】キーを押します。
システムの再セットアップが始まります。途中でCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 3 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。
- 4 【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、しばらくすると「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されます。



☑ チェック!!

- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回ピーというピーブ音が鳴りますが、故障ではありません。再セットアップは正しく進んでいます。

10 .Windows Me の設定をする

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「7.Windows Me の設定をする」(p.80)をご覧ください、Windows Me の設定をしてください。

11 . Office XP Personalを再セットアップする (Office XPモデルの場合)

Office XPモデルをお使いの場合は、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「8.Office XP Personalを再セットアップする(Office XPモデルの場合)」(p.82)をご覧ください、Office XP Personalを再セットアップしてください。

12 .このパソコンの機能を使えるようにする

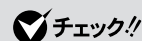
このパソコンのいろいろな機能を使えるようにします。「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「9.このパソコンの機能を使えるようにする(Office XPモデルの場合)」(p.84)をご覧ください、VALUESTARを使う準備をしてください。

13 .フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする

ハードディスクドライブを5つ以上に分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(「8.ドライブを初期化(フォーマット)する」(p.109)でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

C~Fドライブまでしか作成していない場合は、以下の手順は必要ありません。「14.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」に進んでください。

- 1 パソコンの電源を入れます。
パソコンが起動します。
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするハードディスクドライブ(G、H、I、...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリックします。
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 4 「通常のフォーマット」をクリックします。
- 5 「開始」をクリックします。



C~Fのドライブはフォーマットしないでください。

フォーマットの確認画面が表示されます。

- 6 「OK」をクリックします。
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。
- 7 「閉じる」をクリックします。
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。
- 8 「OK」をクリックします。
スキャンディスクのヘルプ(「クラスタ、ファイルおよびフォルダのエラーを検査するには」)が表示されます。
- 9 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。
- 10 ヘルプの内容にしたがってスキャンディスクを実行します。
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10をくりかえしてフォーマットしてください。

14 .別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「4. 別売の周辺機器を取り外す」(p.77)で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。

15 .購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す


パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて消去されているので、設定し直してください。

インターネットを使っていたときや、BIOSの設定を変更していたときは、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップモード)」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.76)であらかじめとっておいた設定に戻してください。「バックアップ-NX」を使うと、簡単にインターネットなどの設定を元に戻すことができます。IDやメールアドレスは、すでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。

16 .別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。


17 .バックアップしたデータを復元する

「1.バックアップをとる」(p.99)でバックアップしたアプリケーションのデータを復元してください。手順については、「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

メモ

スキャンディスクは、ハードディスクに壊れている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。


参照

スキャンディスクの操作 PART1の「スキャンディスクを使う」(p.16)、「添付ソフトの使い方」-「スキャンディスク」

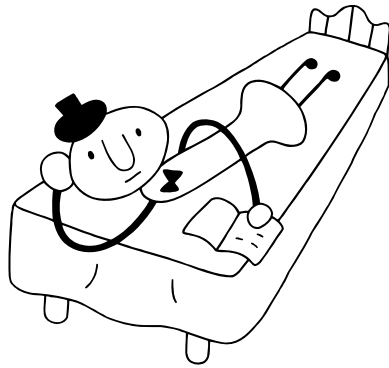
参照

周辺機器の設定 周辺機器のマニュアル、『もっと知りたいパソコン』

参照

インターネットの設定を控える 
「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

付 録



添付品の修復、再入手、 交換、補修用性能部品


消耗品

CD-ROM は、有料で修復または再入手することができます。

CD-ROM は消耗品です。

消耗品とは、使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても有料です。

 参照

NECのお問い合わせ先 『121ware
ガイドブック』、 「サポートセン
タ」-「NECのサービス&サポート」

消耗部品

ハードディスク、ディスプレイ、キーボード、マウス、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、電源ユニット、CPUのファンは、消耗部品(有償交換部品)です。使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩擦、劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECフィールドイングの各支店、営業所などで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。

 参照

NECのお問い合わせ先 『121ware
ガイドブック』、 「サポートセン
タ」-「NECのサービス&サポート」

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

譲渡、廃棄、改造について

この製品を譲渡するには

この製品を第三者に譲渡する場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、お客様登録(ユーザ登録)を行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は以下の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

第三者に譲渡(売却)される製品をお客様登録(ユーザ登録)している場合は、121ware(ワンツワンウェア)登録センター(TEL:0120-469-121)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いします。

譲渡を受けるお客様へ

お客様登録(ユーザ登録)に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でお送りください。

記載内容

1. 本体型番および保証書番号(本体背面、側面または保証書に記載の型番および製造番号)
2. 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
3. あなたの氏名、住所、電話番号

宛先

〒183-8501 東京都府中市日新町1-10(NEC府中事業場)
121ware 登録センター係

✓チェック!!

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

ハードディスクに一度記憶されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。市販のソフト(別売)などを使うとデータを消せます。

この製品を廃棄するには

この製品の所有者が事業者の場合には、この製品を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。

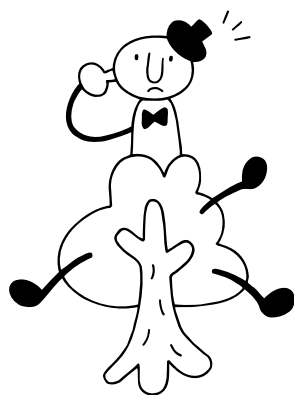
なお、この製品の所有者が個人の場合には、マニフェストの発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。

このパソコンの改造

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。

記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

索引



英字

CD-ROM	64
Invalid system disk	35
Microsoft Windows Millennium Startup Menu	34
MS-DOSプロンプト	60
Non-system disk or disk error	37
Office XP Personal	82
Operating System not found	35
Please Insert Another Disk	35
VirusScan	11,61
Windowsの強制終了	39

あ行

アプリケーション	48
アプリケーションの強制終了	39
アプリケーションのデータをバックアップ	9
アプリケーションのデータを復元	20
インストーラ-NX	49
インストール	49
インターネット接続の設定をバックアップ	10
インターネット接続の設定を復元	20

か行

改造	116
拡張MS-DOS領域	99
カスタムモード	91,94,98
キーボード	41
基本MS-DOS領域	99
休止状態	54
コントロールパネル	22
コンピュータウイルス	3,11,61

さ行

再起動	16
再セットアップ	71
サポートセンタ	4
システムの復元	7,19,21
周辺機器	51
使用許諾契約書	80
省電力機能	54
譲渡	115
消耗品	114

消耗部品	114
スーパーバイザパスワード	59
スキャンディスク	16,21,34
スタンバイ状態	54
セーフモード	21,34

た行

ディスプレイの電源ランプ	30
ディップスイッチ	46
データ保護再セットアップモード	86
デバイスマネージャ	22
電源	30
添付品	63,114
ドライバ	51
トラブルチェックシート	119,120

は行

ハードディスクの領域	99
廃棄	63,116
パスワード	59
パソコン本体の電源ランプ	32
バックアップ	7,19,75,76,87
バックアップ-NX	9,87
標準再セットアップモード	75
フリーズ	16,27,50
補修用性能部品	114

ま行

マウス	41
-----------	----

や行

ユーザパスワード	59
----------------	----

ら行

リソース	11,50
領域削除	100
領域作成	105
論理MS-DOSドライブ	99

お問い合わせの前に

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な状態をお知らせいただく必要があります。このトラブルチェックシートに記入してから、お問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えが可能になります。ぜひ、ご記入ください。なお、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にポイントし、「システム情報」をクリックすると、詳細情報が表示されますので参考にご覧ください。

トラブルチェックシート 1

あなたのパソコンの構成	
ハードウェア	
本体	
型名 (型名は本体背面または側面に表示されています)	
製造番号 (保証書番号)	
メモリの容量	_____ MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「 _____ MBのRAM」という表示の「 _____ 」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量 (Cドライブ)	_____ MB(メガバイト) (_____ GB(ギガバイト) (_____) をつけてください。)
ハードディスクの空き領域 (Cドライブ)	_____ MB(メガバイト) (_____ GB(ギガバイト) (_____) をつけてください。)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名 (メーカー名)
ディスプレイ	ディスプレイセットモデル 型名： (型名はディスプレイの背面または底面に記載されています)
プリンタ	
SCSIボード	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	
ソフトウェア	
OSのバージョンと発売メーカー	
Windows Me	Windows 2000
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト	



トラブルチェックシート 2

具体的なトラブルの内容	
どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。	
(例：ワードパッドで入力したり、印刷すると突然止まってしまう。)	
画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？ メッセージや番号を書いてください。	
(例：「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」とひんばんに表示される。)	
そのトラブルはどんなときに起きましたか？	
パソコンを起動するときに起きる そのアプリケーションを起動する ときに起きる 特定の操作を行うと起きる はじめて起きた	(例：複数のソフトウェアを同時に使っていると、 止まってしまう。)
その他に気づいたことがあれば書いてください。	
(例：エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを押して、何回か電源を切った。)	

トラブル 予防 4 つのポイント

ハードディスクの空き容量を十分に確保する

Windows を快適に使うには、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。空き容量が不足してくると、ファイルの読み書きやアプリケーションの起動に時間がかかるようになり、最後には Windows そのものが動作しなくなります。C ドライブの空き容量は、常に 100M バイト以上確保してください。C ドライブの空き容量が不足してきたら、D ドライブを利用するか、ディスククリーンアップを行って不要なファイルを削除するか、ハードディスクドライブを増設してください。



 参照 不要なファイルを削除  サポートセンター「トラブル解決Q&A」『ハードディスク』ハードディスクドライブの増設 『もっと知りたいパソコン』PART10の「ハードディスクを増設する」

C ドライブの空き容量の確認

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「Windows ME (C:)」アイコンにマウスポインタを合わせてクリックします。
画面の左側に使用領域と空き領域が表示されます。



定期的にハードディスクを点検する

ハードディスクを使い続けるとハードディスクにトラブルが発生することがあります。定期的にスキャンディスクを実行することをおすすめします。

 参照 スキャンディスクについて この本の PART1 の「スキャンディスクを使う」(p.16) システムツールの操作  サポートセンター「トラブルの予防」『予防のためのツール』システムツールについて 「ヘルプとサポート」

日ごろから大切なデータをバックアップする

トラブルを解決するのに、再セットアップが必要なことがありますが、一般に再セットアップを行うと、大切なデータはすべてハードディスクから消去されることがあります。大切なデータは、日ごろからこまめに CD-R/RW や MO、外付けハードディスクにバックアップしてください。このパソコンには、アプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

 参照 MO や外付けハードディスクにバックアップする この本の PART1 の「データとインターネット設定のバックアップ」(p.7) バックアップ-NX について  添付ソフトの使い方『バックアップ-NX』およびこの本の PART1 の「データとインターネット設定のバックアップ」(p.7)

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

パソコンを使っていると、インターネットやメール、フロッピーディスクや CD-ROM の受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

- ・パソコンのウイルス検査は定期的に行う
- ・出所不明なフロッピーディスクや CD-ROM、プログラムは使用しない
- ・入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・インターネットやパソコン通信から、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
- ・覚えがない電子メールや添付ファイルは開かず削除する
- ・ワクテンソフトは最新版になるように定期的に更新する

また、VirusScan によってコンピュータウイルスが検出されたら、「コンピュータウイルスが検出された」(p.61) をご覧になり、ウイルスの駆除を行ってください。

 参照 VirusScan について  添付ソフトの使い方『VirusScan』

困ったときのQ&A

VALUESTAR



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR

初版 2001年5月

NEC

P

853-810336-013-A